

第2次佐倉市地域公共交通網形成計画
【資料編】

2020年（令和2年）3月

目次

| | |
|----------------------------|----|
| ○ 佐倉市コミュニティバス導入ガイドライン..... | 1 |
| ○ 公共交通に関するアンケート調査結果..... | 10 |
| ○ 公共交通に関する意見交換会開催結果..... | 48 |
| ○ 計画の策定経緯..... | 58 |

佐倉市コミュニティバス導入ガイドライン

平成 29 年 3 月
(令和 2 年 3 月改定)

1 本ガイドラインの位置付け

(1) ガイドライン策定の背景

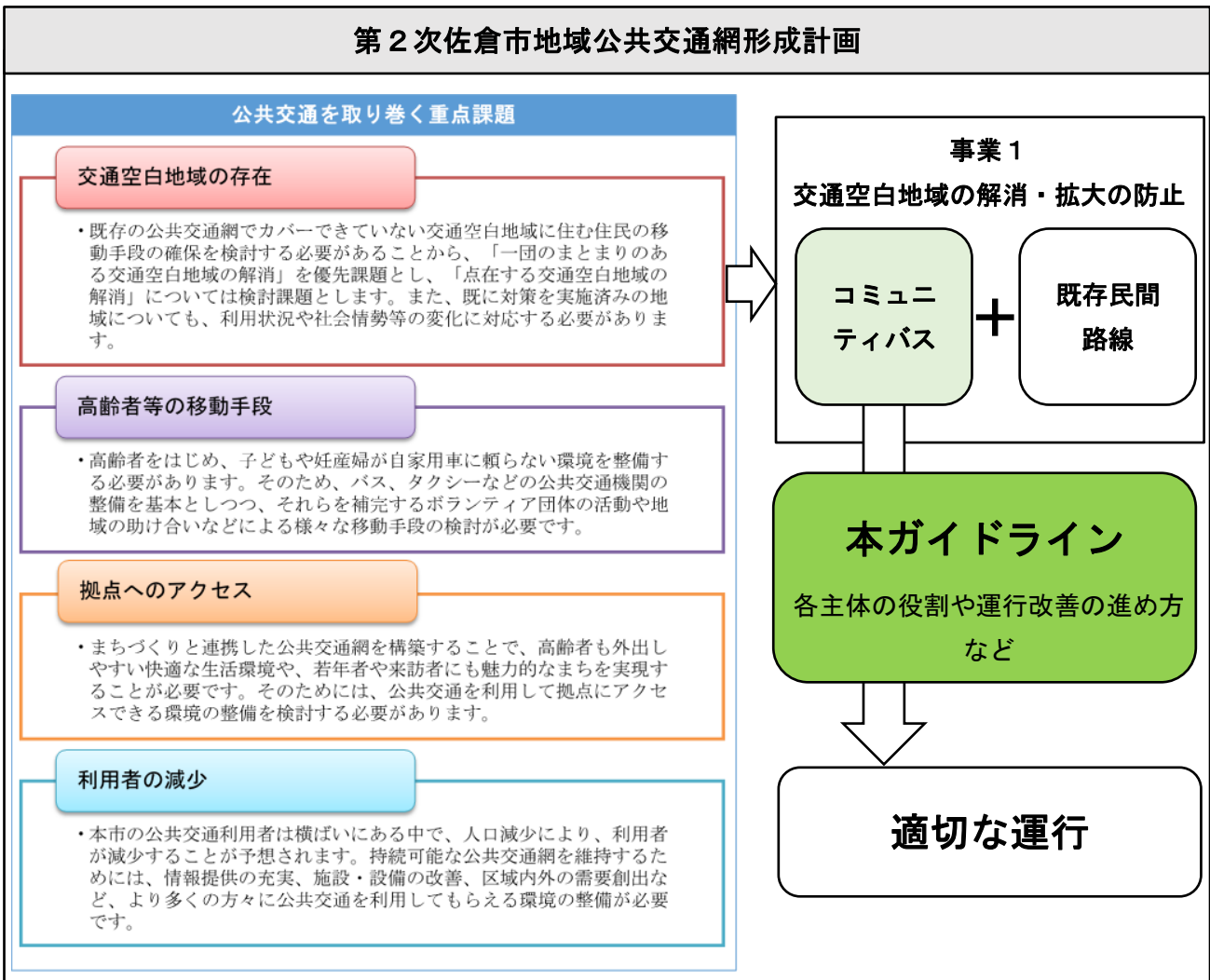
佐倉市では、2017年（平成29年）3月の佐倉市地域公共交通網形成計画（以下「形成計画」という。）の策定に併せ、佐倉市コミュニティバス（内郷ルート）とデマンド交通^{*}について、運行に関するチェック体制の構築や、市民ニーズを反映した運行改善への取組を行うため、「佐倉市コミュニティバス導入ガイドライン」を作成しました。

その後、2018年（平成30年）1月に新たに志津北側、畔田・下志津、南部地域ルートの3ルートでコミュニティバスの運行を開始するなど、市内の公共交通を取り巻く状況が変化したことから、第2次佐倉市地域公共交通網形成計画の策定に併せて、本ガイドラインを改定することとしました。

※デマンド交通は2017年度（平成29年度）に運行終了

(2) ガイドラインの位置付け

第2次佐倉市地域公共交通網形成計画で整理した「公共交通を取り巻く重点課題」の1つに「交通空白地域の存在」があります。この課題への対応策であるコミュニティバスについて、導入と適切な運行に係る行政・市民・交通事業者3者それぞれの役割や、運行改善の進め方などを本ガイドラインに示します。



ガイドラインの位置付け

2 対策の検討に当たっての大原則

(1) 民間事業者への影響を可能な限り最小限に抑えること

市内には鉄道が2路線、新交通システムが1路線、バス路線が18路線整備されており、市民の移動手段として重要な役割を担っています。市内の移動による利便性を維持・向上させていくためには、第1にこれらの既存の公共交通機関が衰退することなく、維持されていく必要があります。

コミュニティバスの導入が、これら既存の民間事業者に影響を及ぼさないよう、ルートや運賃設定に当たっては、民間事業者との協議を経て決定することとします。

(2) 一団のまとまりのある交通空白地域であること

コミュニティバスの導入地域は、形成計画で定める「一団のまとまりのある交通空白地域」とします。

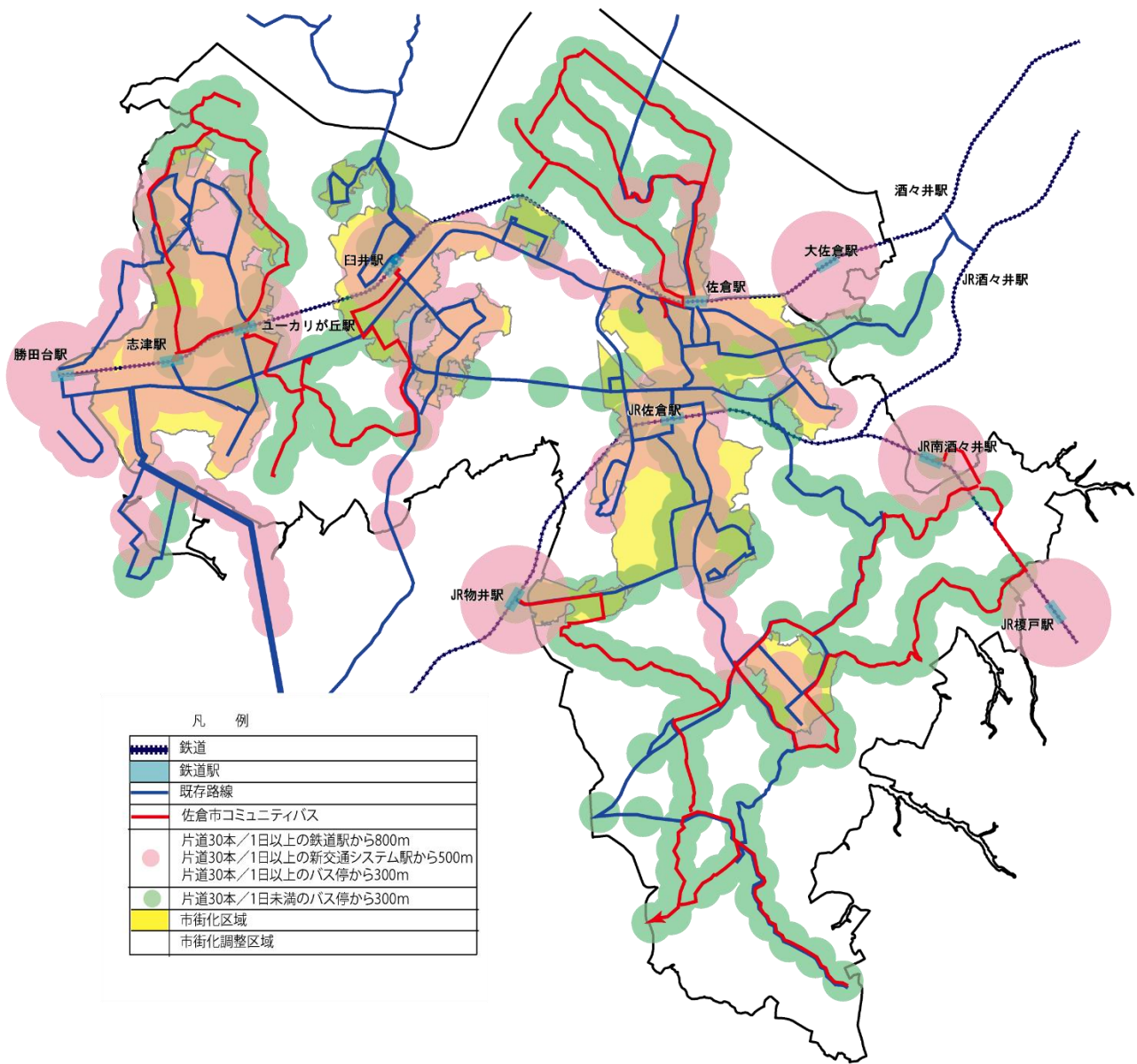
(3) 地域の協力と一定のニーズがあること

地域ごとに置かれている状況が異なり、そこに発生する課題やニーズも異なる中で、当該地域の実情を正確に把握し、計画に活かしていくためには、地域住民の積極的な協力が不可欠です。

また、交通空白地域においてコミュニティバス事業を維持していくためには、一定のニーズがなければ困難です。「あったら良い・将来使う」ではなく、「なくてはならない」移動手段として、地域全体で利用していくことが重要です。

公共交通利便地域などの定義

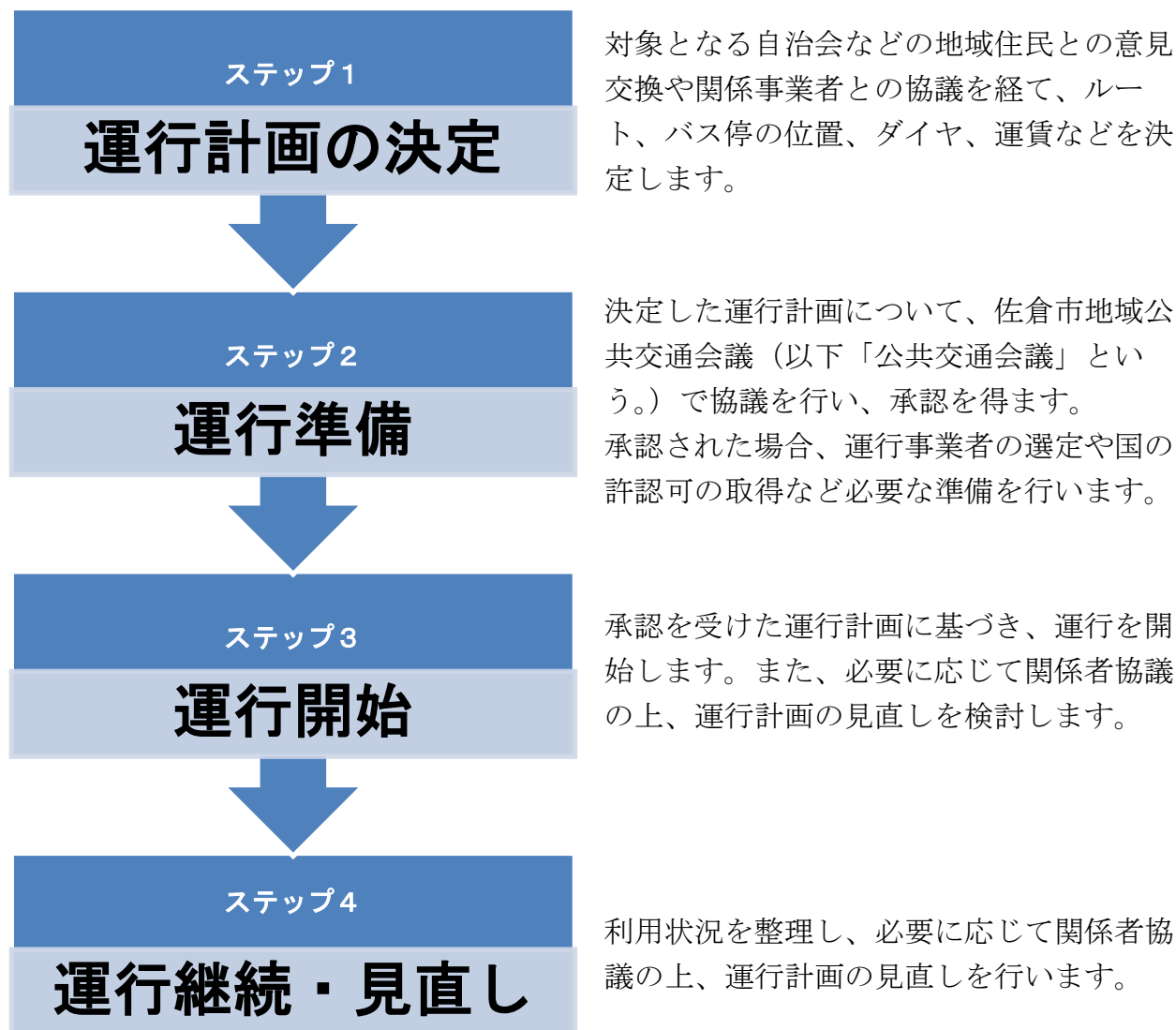
| | | バス | | |
|----|-----------------------------------|--------------------|--------------------|-----------------|
| | | バス停から 300m圏内 | | バス停から 300m圏外 |
| | | 運行本数 30本/日・片道以上 | 運行本数 30本/日・片道未満 | |
| 鉄道 | 鉄道 800m圏内 又は 新交通システム 500m圏内 | 公共交通利便地域 | | |
| | 鉄道 800m圏外 かつ 新交通システム 500m圏外 | | | |



既存公共交通網の利便性とカバーエリア
 出典：第2次佐倉市地域公共交通網形成計画

3 検討開始から導入までの流れ

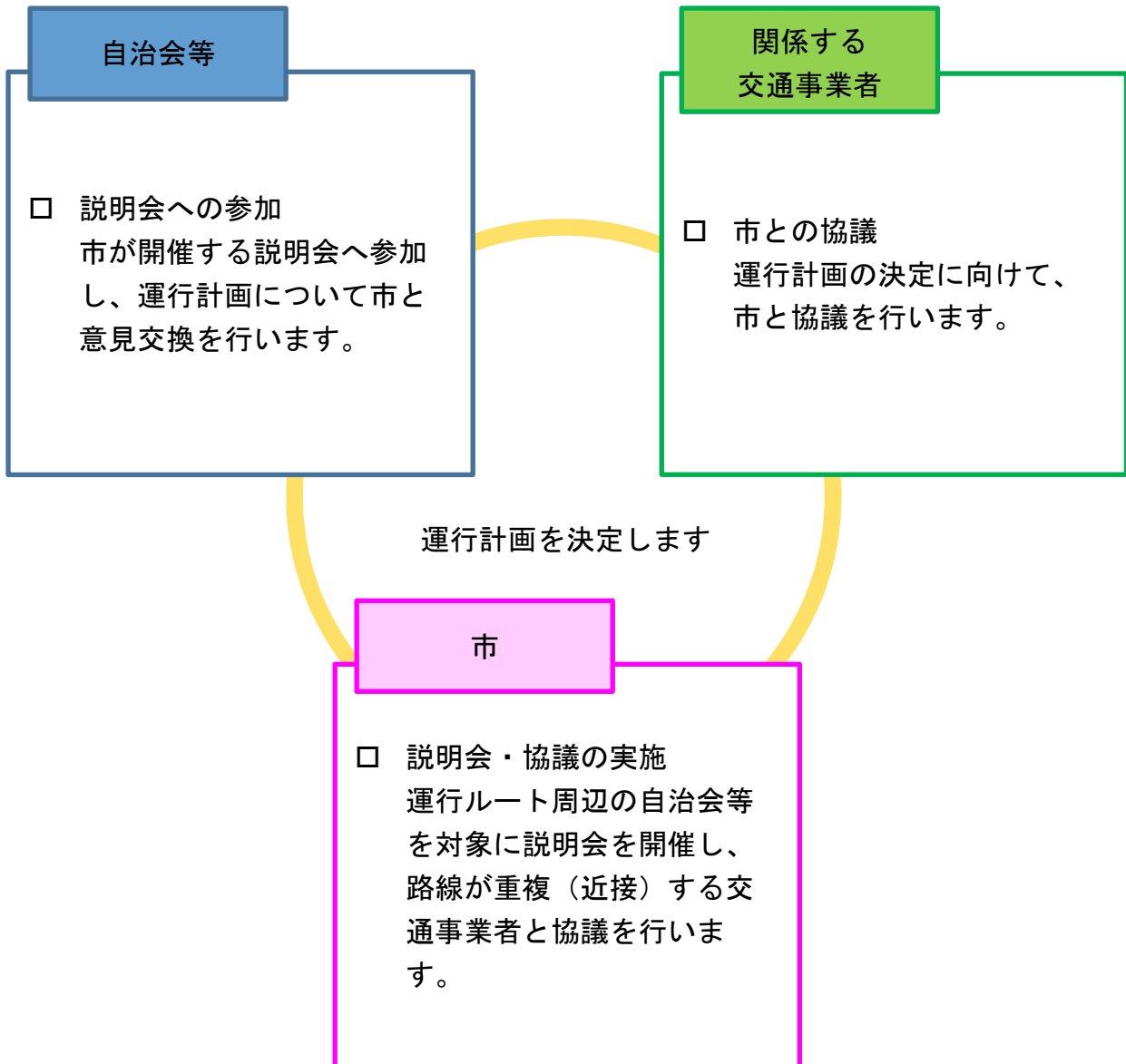
本ガイドラインの運用に当たり、検討の開始から導入までの流れを以下に示します。



4 各ステップの詳細

ステップ1 運行計画の決定

対象となる自治会などの地域住民との説明会を実施するとともに、関係する交通事業者との協議を行った上で運行計画（ルート、バス停の位置等）を決定していきます。



【運行計画決定のポイント】

- ① 安全性 バス車両が安全に通行できる道路であることが必要です。
- ② 速達性 全ての道路を経由して目的地に向かうと、時間がかかり過ぎるため、ある程度効率的な道路を選択してルートを組む必要があります。
- ③ 重複 民間路線と共存できるように、路線や運賃などを工夫する必要があります。

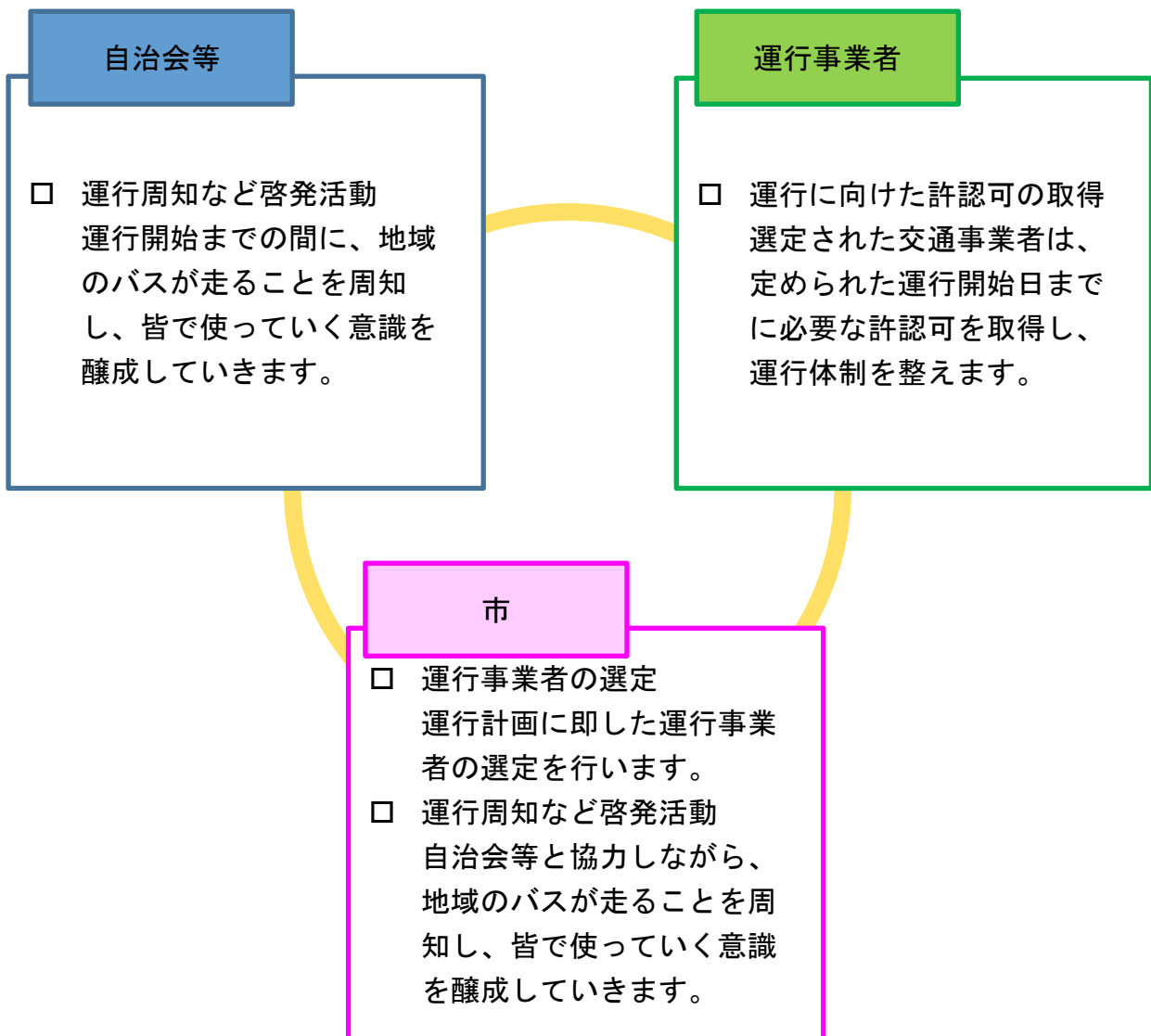
ステップ2 運行準備

① 運行計画の承認

決定した運行計画を公共交通会議へ報告し、承認を得ます。

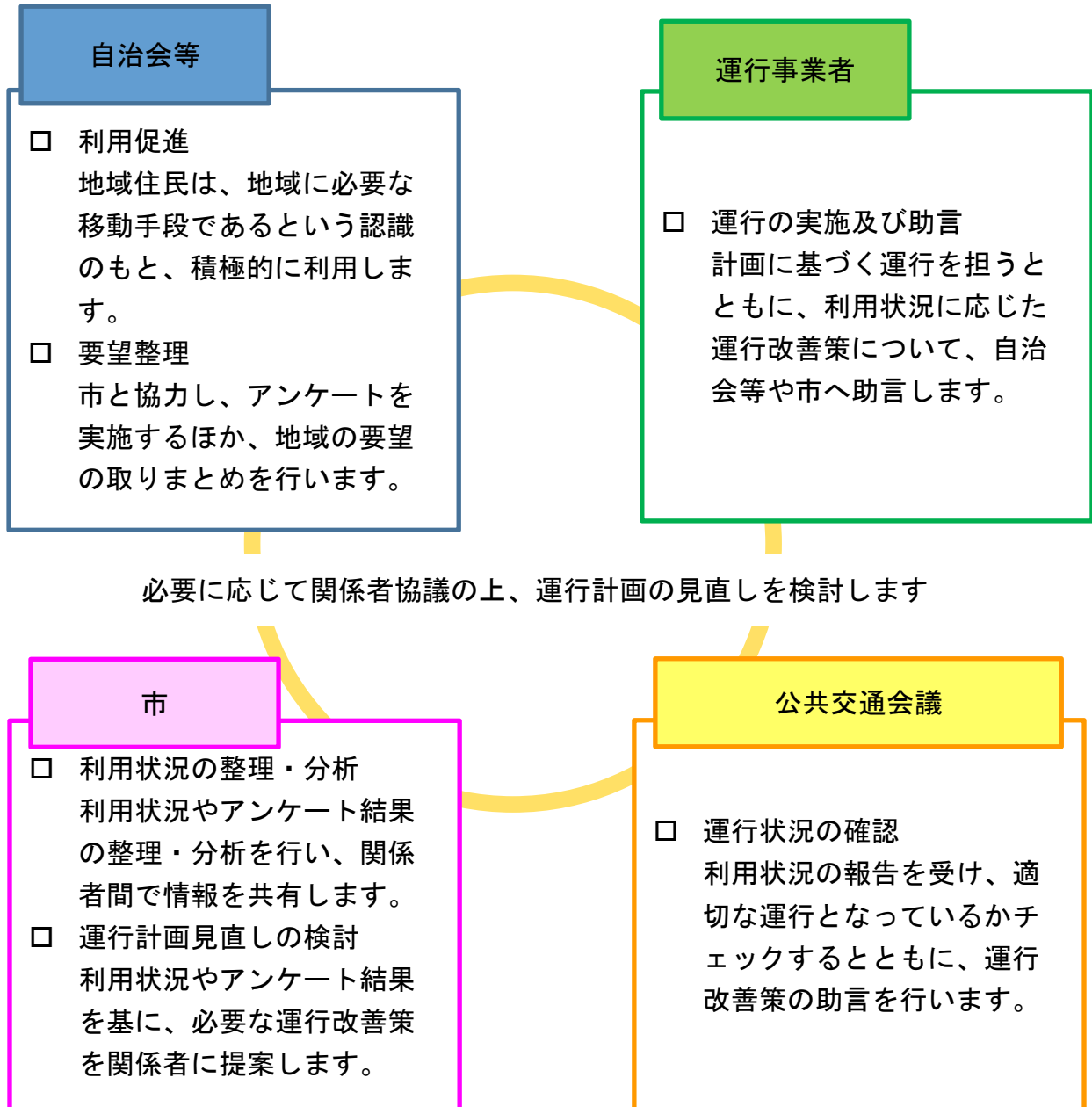
② 運行事業者の選定をはじめとする各種準備

承認された運行計画に基づき、市は運行事業者を選定します。運行開始までの期間、自治会等・運行事業者・市はそれぞれの立場で、利用意識の醸成や運行開始に必要な手続を行います。



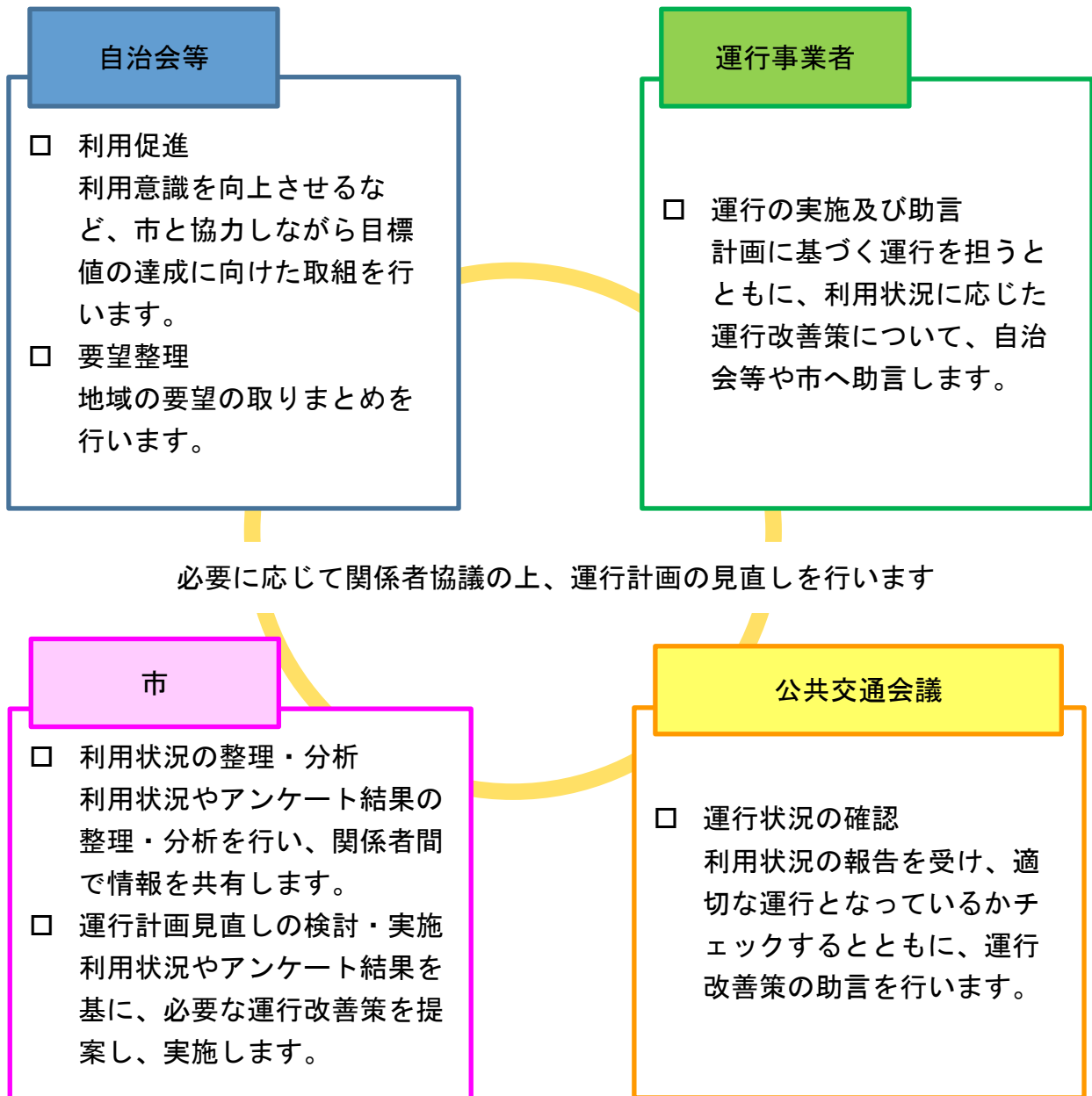
ステップ3 運行開始（運行開始から1年間）

運行開始後は、利用状況の整理を行うほか、アンケートの実施などにより運行計画と利用者ニーズが合致しているか確認を行います。



ステップ4 運行継続・見直し（2年目以降）

1年間の利用状況を整理し、必要に応じて運行計画の見直しを行います。また、一定の費用対効果を維持するため、形成計画で定めた目標値の達成に向けて、各年の目標値（利用者数）を定め、目標の達成に向けた各取組を実施します。



※ 目標値の達成状況は、運行継続・終了を即判断する材料ではありませんが、利用が少ない状況が続く場合には、間引き運行や撤退などの運行計画の見直しを行うこともあります。

公共交通に関するアンケート 調査結果

(1) 調査の目的

佐倉市は、持続可能な公共交通網の形成を目的として、平成29年3月に「佐倉市地域公共交通網形成計画」を策定しており、平成31年度で計画期間が終了する。

本アンケートは、次期佐倉市地域公共交通網形成計画の策定にあたり、市民の移動実態や公共交通のニーズ等を把握するために実施したものである。

(2) 調査の概要

① 調査方法

住民基本台帳をもとに、市内在住の18歳以上の男女1,000人を無作為抽出し、郵送にて配布

② 実施期間

平成31年3月8日（金）～平成31年3月29日（金）

③ 回収状況

1,000枚配布のうち、457枚回収 回収率；45.7%

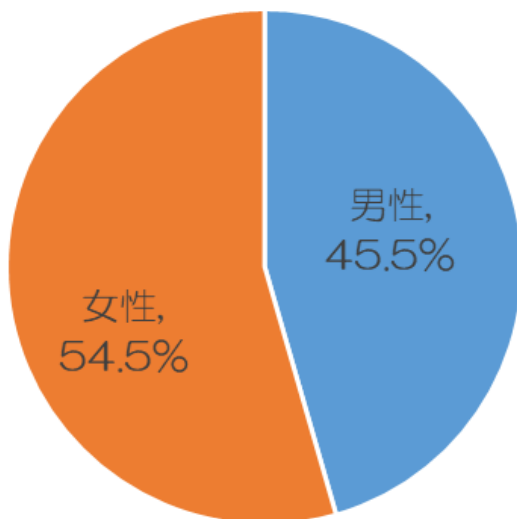
※各回答の構成比は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(3) 調査の結果

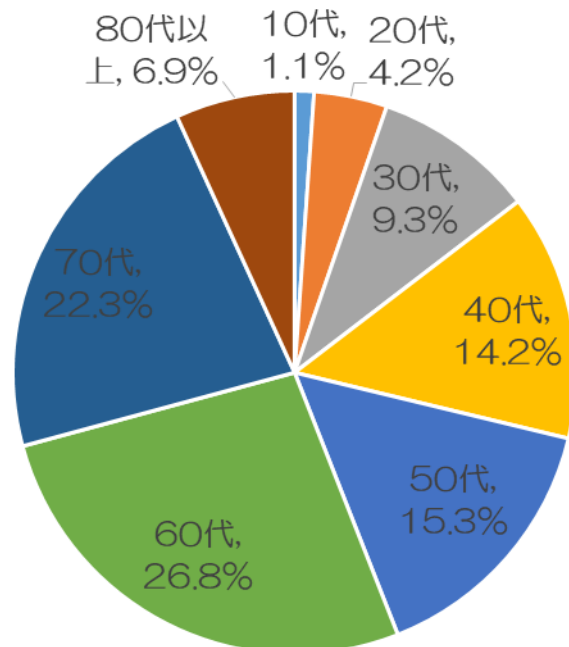
【質問1】あなたご自身の事についてお尋ねします。

- ・性別は、男性 45.5%、女性 54.5%と女性がやや多い。
- ・年齢は 60 代以上が半数以上を占める。
- ・居住地は、全地区から回答を得ているが、志津地区からの回答が全体の約 44%を占めている。
- ・運転免許証は 80%以上の方が保有しており、返納した人は約 3%となっている。
- ・80%近くの方が自分または家族の自動車やオートバイを持っている。

①性別

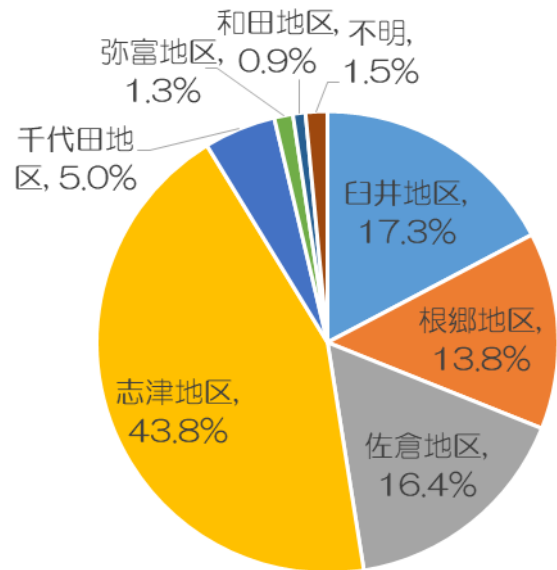


②年齢

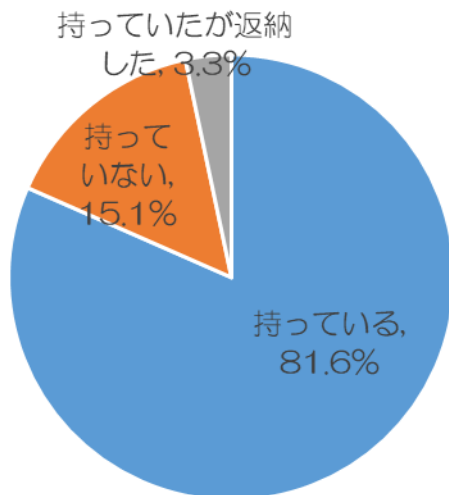


③居住地

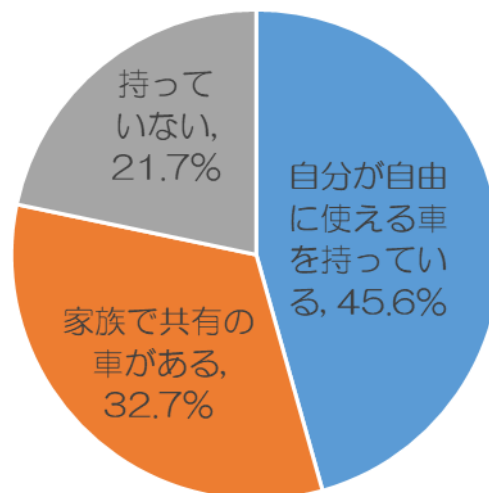
| 地区 | 配布枚数 (枚) | 回収枚数 (枚) | 回収率 (%) |
|-------|-------------|-------------|------------|
| 臼井地区 | 176 | 79 | 44.9 |
| 根郷地区 | 146 | 63 | 43.2 |
| 佐倉地区 | 167 | 75 | 44.9 |
| 志津地区 | 431 | 200 | 46.4 |
| 千代田地区 | 60 | 23 | 38.3 |
| 弥富地区 | 9 | 6 | 66.7 |
| 和田地区 | 11 | 4 | 36.4 |
| 不明 | | 7 | |
| 合計 | 1,000 | 457 | |



④運転免許証の保有状況



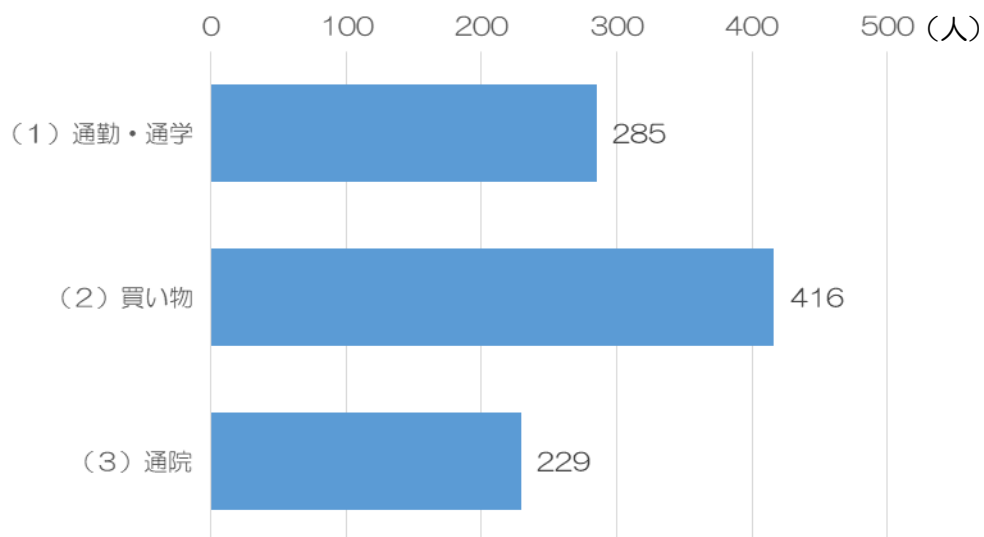
⑤自動車の保有状況※1



※1：オートバイを含む

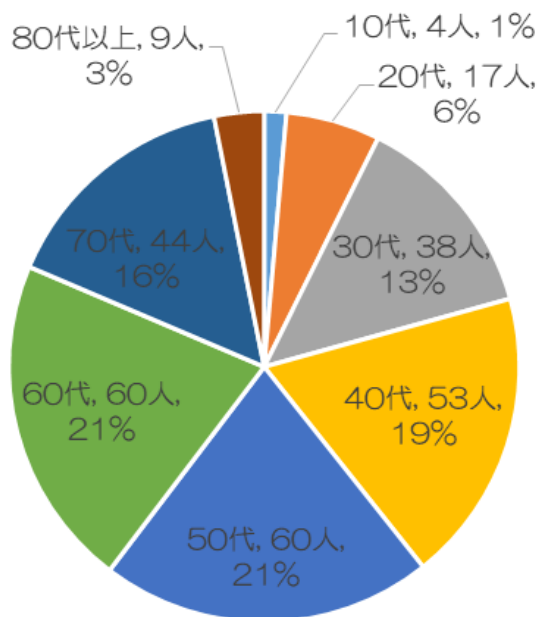
【質問2】 日常の「(1) 通勤・通学」、「(2) 買い物」、「(3) 通院」について、それぞれの主な移動手段等をお尋ねします。(それぞれ最も使う行き先、行き方でお答えください)

「(1) 通勤・通学」、「(2) 買い物」、「(3) 通院」の回答者数

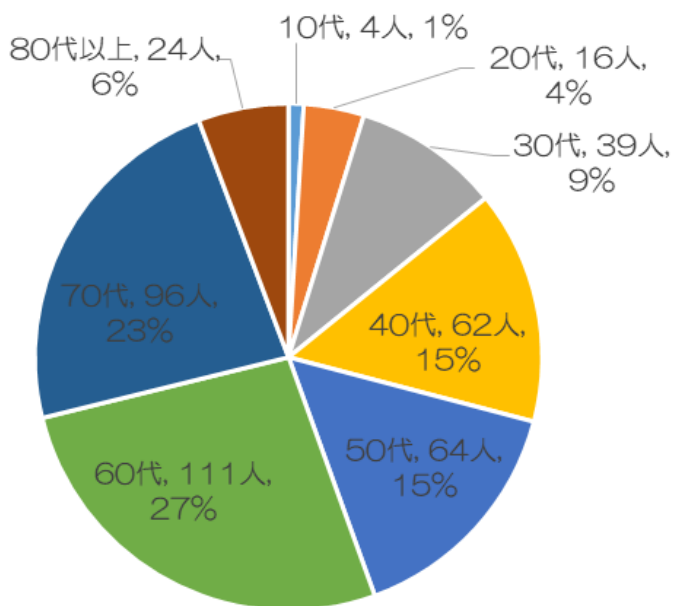


年齢と回答者数のクロス集計

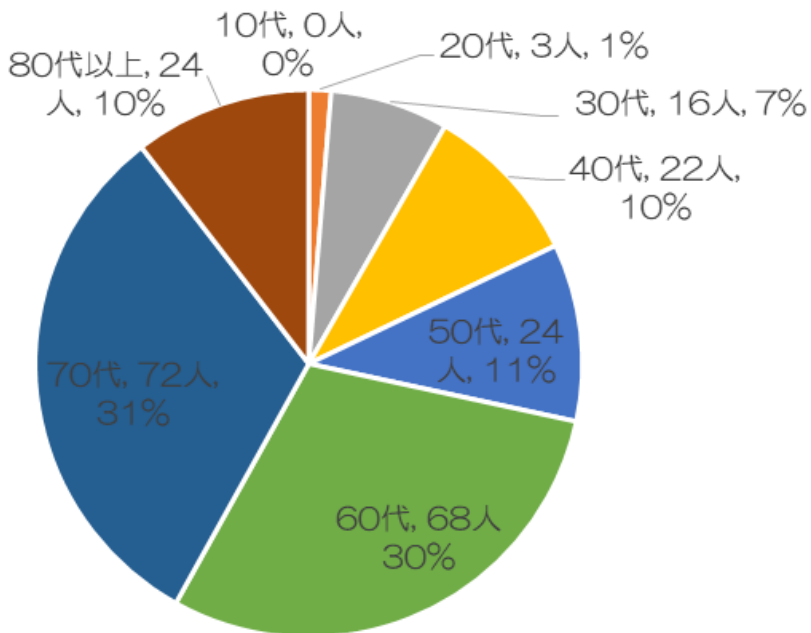
(1) 通勤・通学



(2) 買い物



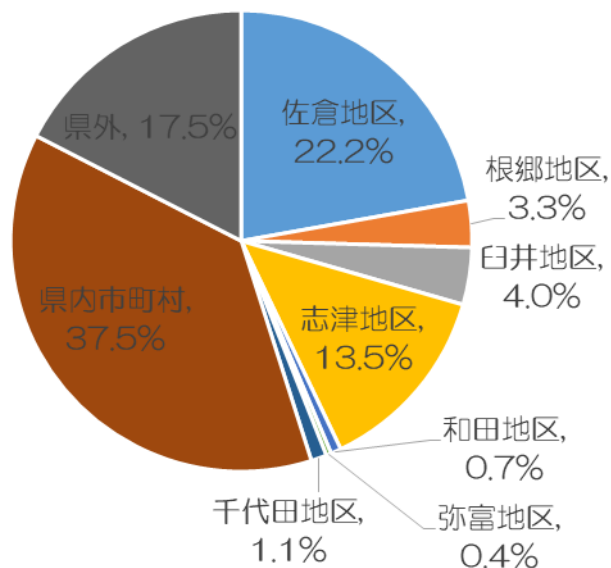
(3) 通院



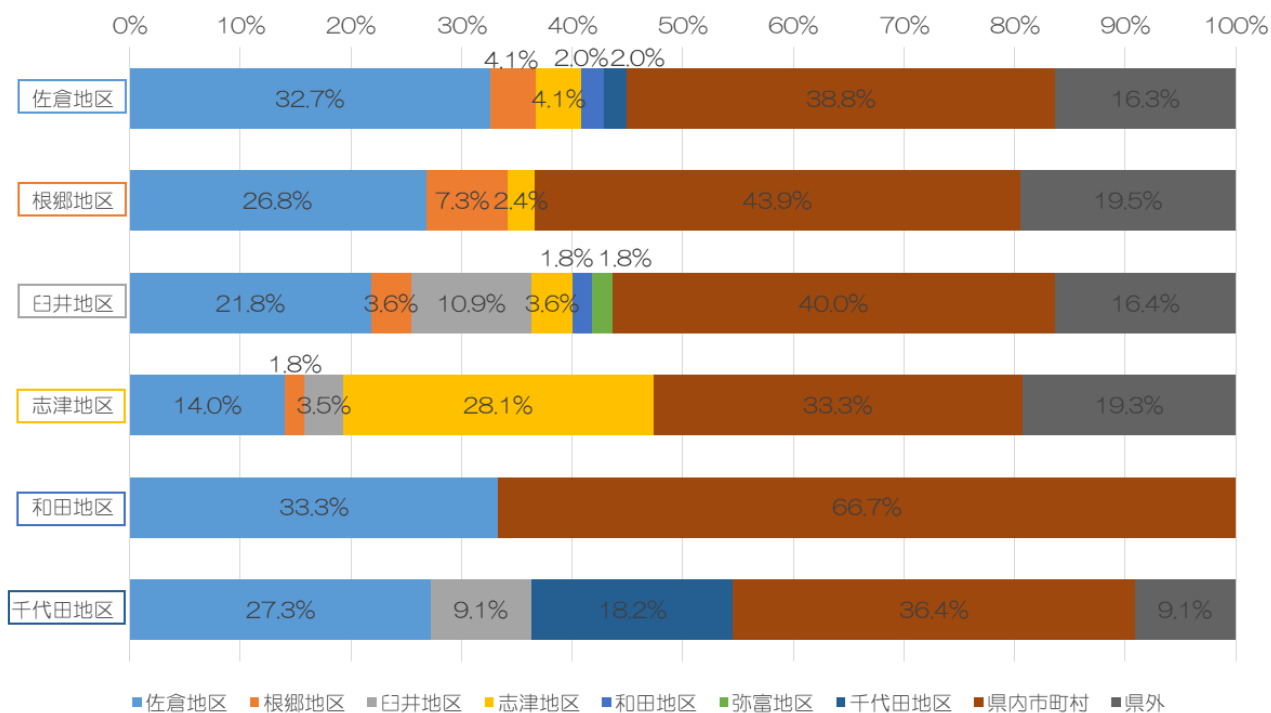
(1) 通勤・通学

①目的地

- ・市外（県内市町村、県外）が半数以上を占め、市内では佐倉地区が比較的多い。
- ・佐倉地区、志津地区に居住している人は同じ地区内へ通勤・通学している人が比較的多い。

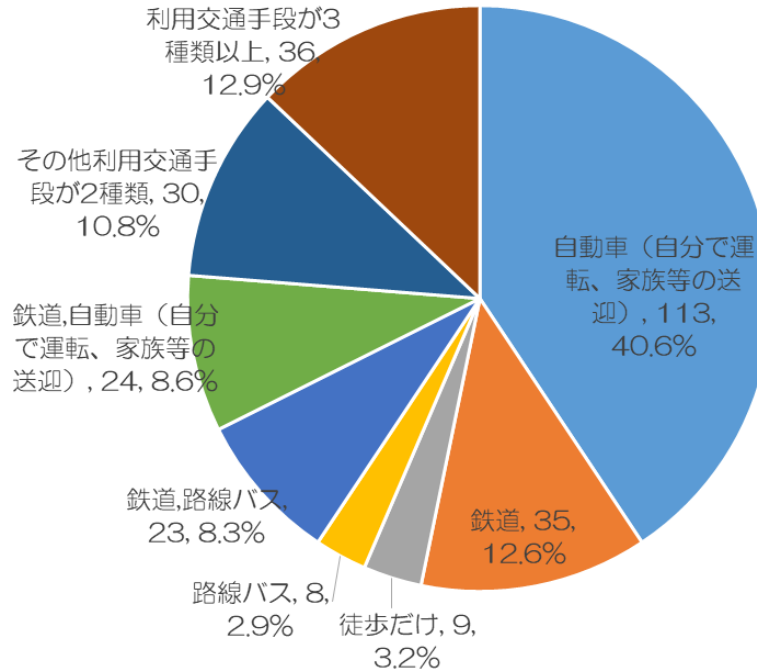


・居住地と目的地のクロス集計

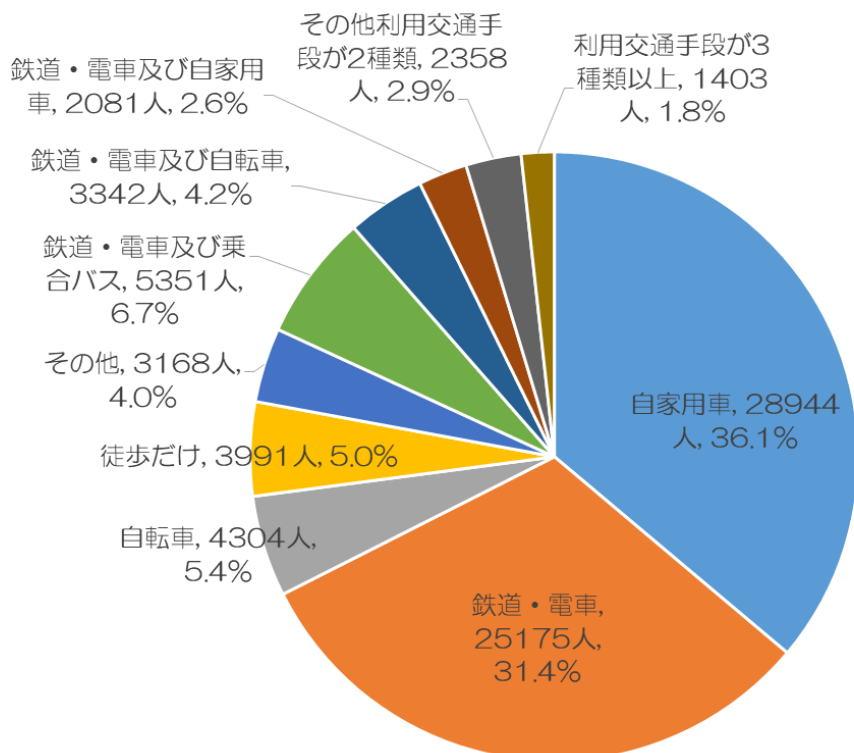


②移動手段

- ・自動車のみの人が約41%を占める。また、自動車と他の移動手段を組み合わせる通勤している人が多く、自動車に依存している実態が伺える。

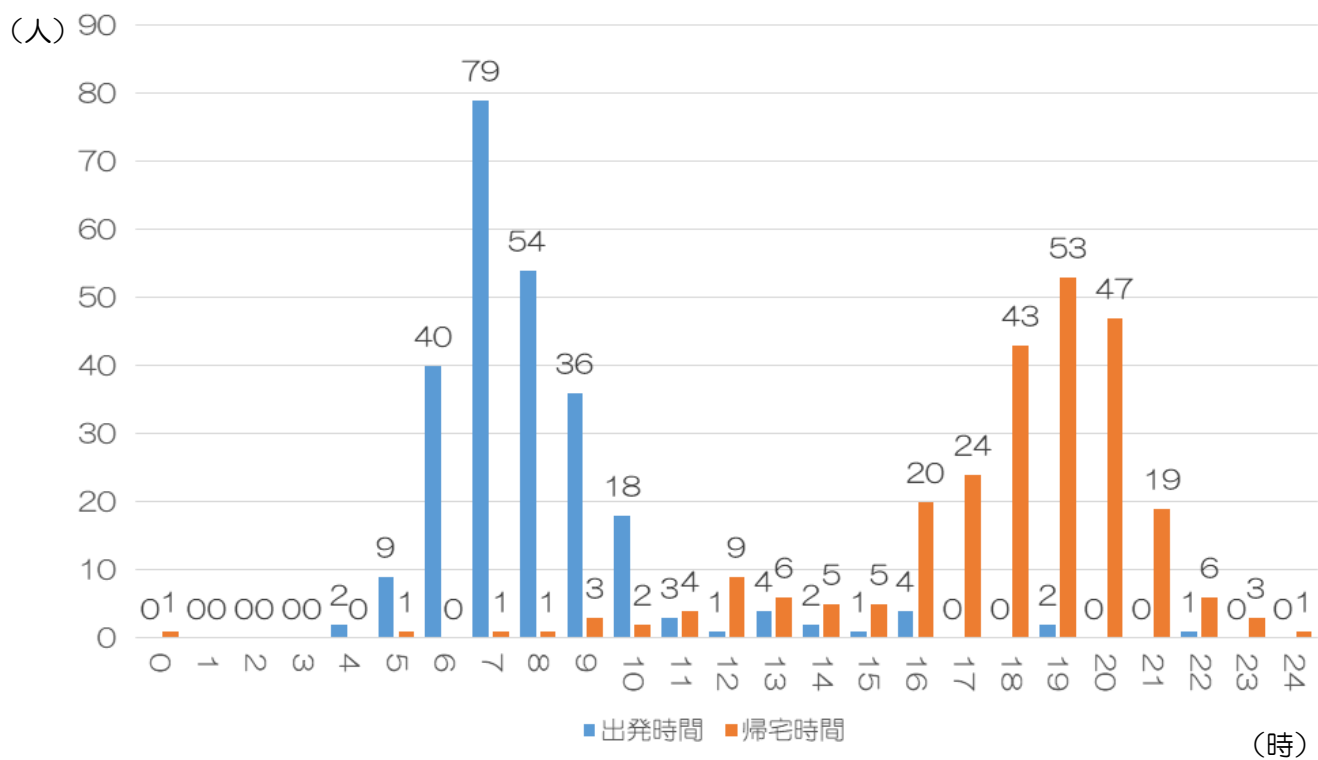


(参考) 「平成22年国勢調査 / 従業地・通学地による人口・産業等集計（人口の男女、年齢、就業者の産業（大分類））都道府県結果 12 千葉県」のうち、佐倉市の利用交通手段の結果



③外出時間

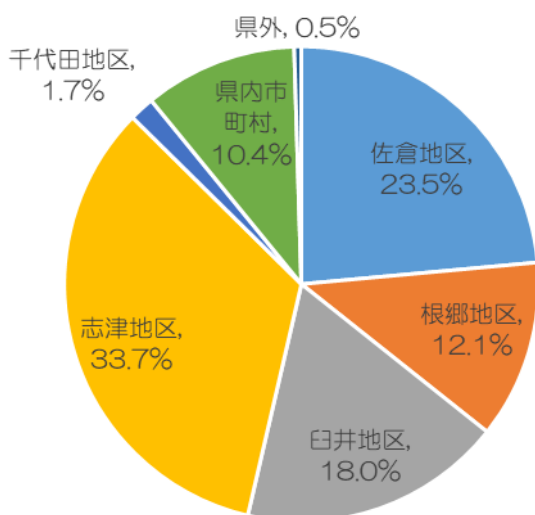
・ 出発時間は6時～9時頃が多く、帰宅時間は18時～20時頃が多い。



(2) 買い物

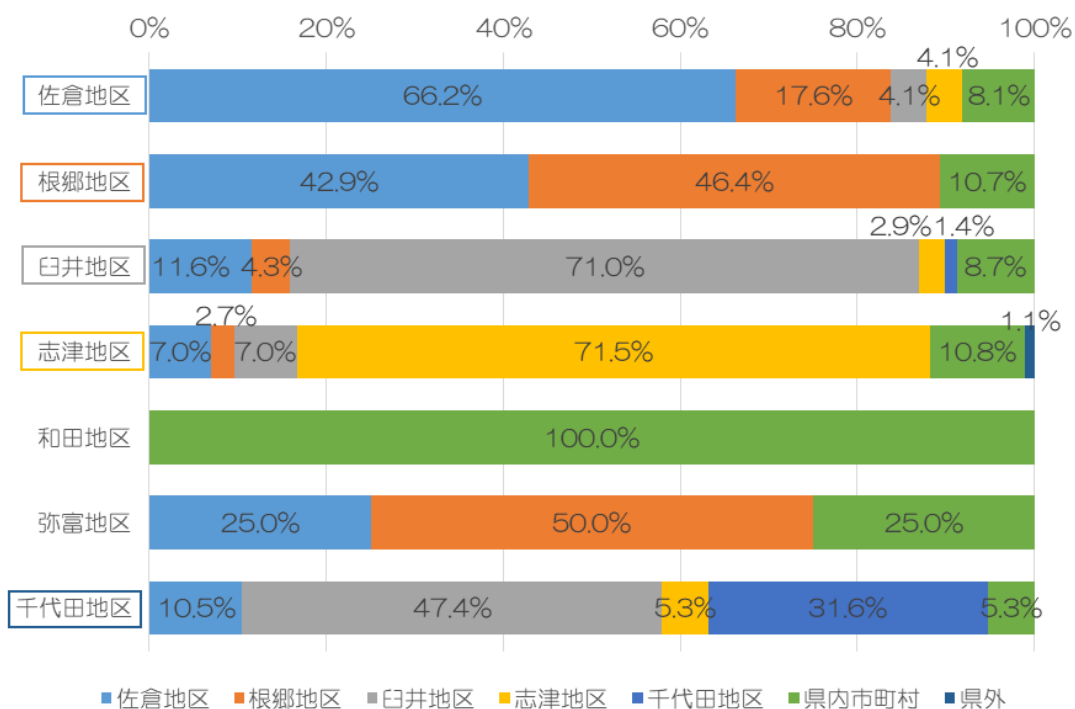
①目的地

- ・志津地区が最も多く、イオンタウンユーカリが丘、オーケー等を利用している。
- ・居住地区内の店舗へ訪れる傾向が見られる他、佐倉地区へは他の地域の住民も多く訪れている。



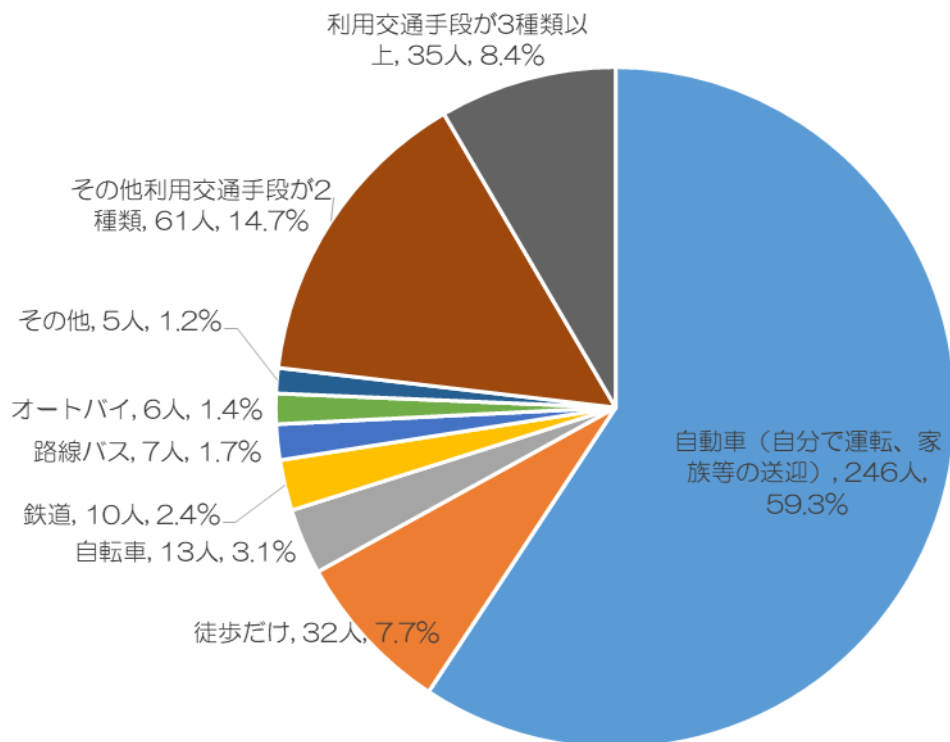
| 地区名 | 施設名 | 人数 |
|-------|---------------------|----|
| 佐倉地区 | いなげや | 9 |
| 根郷地区 | ベイシア | 36 |
| | ライフ | 12 |
| 臼井地区 | タイヨー | 28 |
| | イオン臼井店 | 15 |
| 志津地区 | イオンタウンユーカリが丘 | 44 |
| | オーケー | 32 |
| | マルエツ新志津店 | 11 |
| 千代田地区 | カワチ | 3 |
| 市外 | イオンモール千葉ニュータウン（印西市） | 3 |

・居住地と目的地のクロス集計



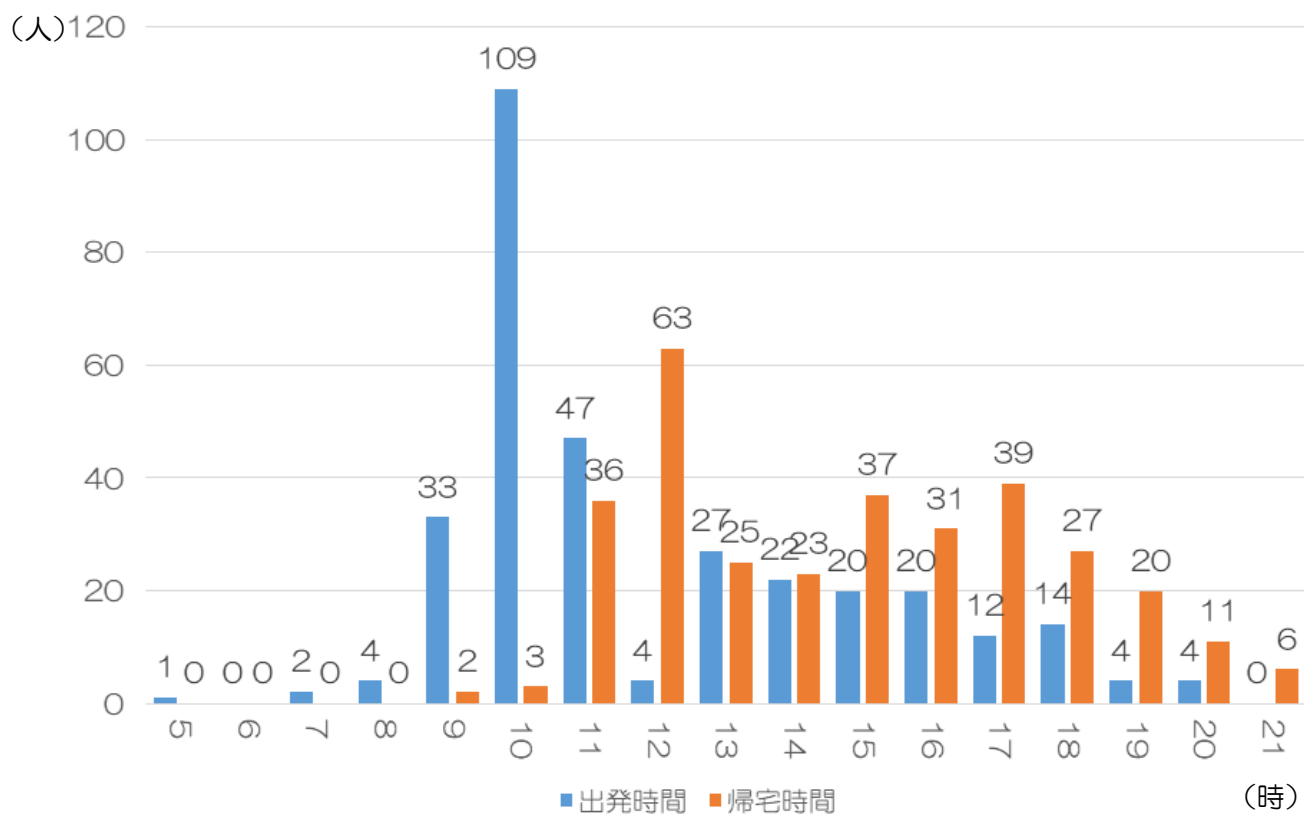
②移動手段

- ・自動車のみで移動する人が約60%近くを占め、通勤・通学以上に自動車に依存している実態が伺える。



③外出時間

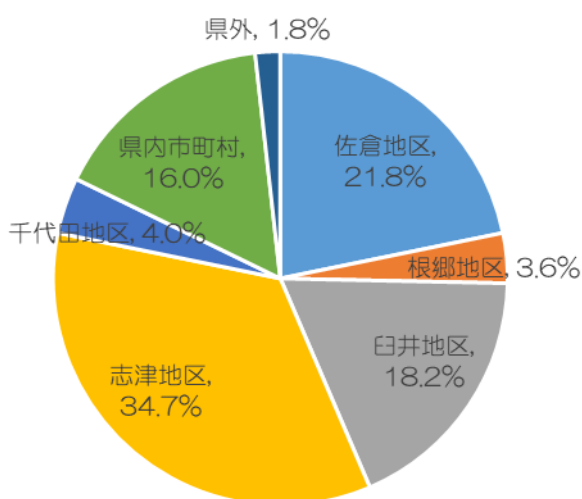
・出発時間は10時頃が多く、帰宅時間は12時頃が多い。



(3) 通院

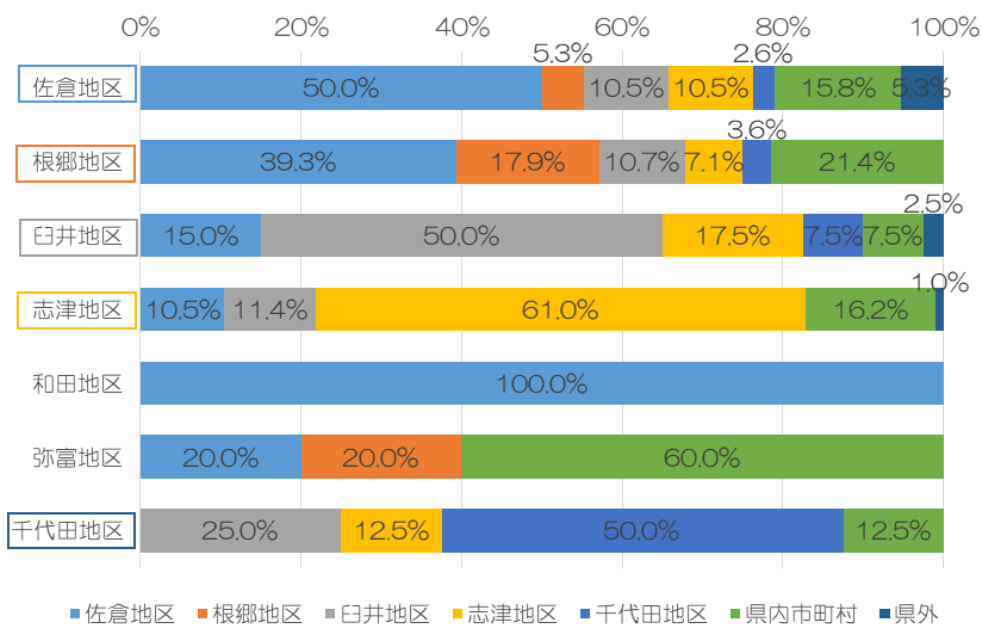
①目的地

- ・ 志津地区、佐倉地区、臼井地区が比較的多く、東邦大学佐倉病院や聖隷佐倉市民病院へ行く人が多い。
- ・ 地区内の病院に通う傾向が見られるほか、佐倉地区、臼井地区へは他の地域の住民も多く通院している。
- ・ 弥富地区は5人のみの回答であるが、うち60%が県内市町村へ通院している。



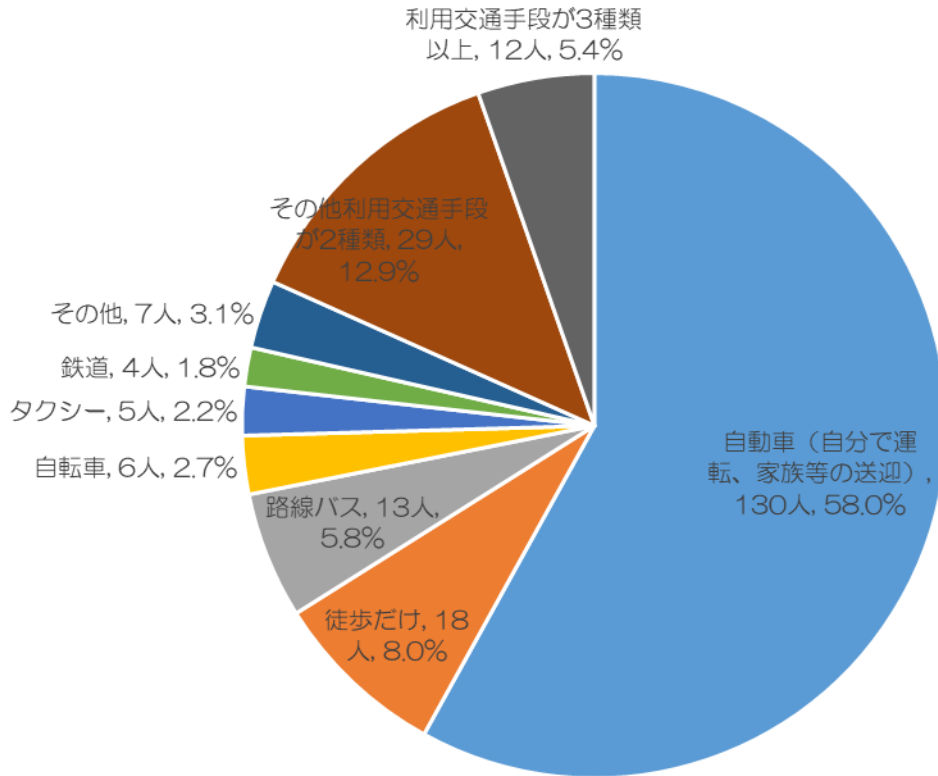
| 地区名 | 施設名 | 人数 |
|-------|--------------------|----|
| 佐倉地区 | 厚生園病院 | 2 |
| 根郷地区 | いとうクリニック | 3 |
| | 佐倉整形外科病院 | 2 |
| 臼井地区 | 聖隷佐倉市民病院 | 17 |
| | はやし眼科 | 3 |
| | 小林クリニック | 3 |
| 志津地区 | 東邦大学佐倉病院 | 27 |
| | 志津南クリニック | 4 |
| 千代田地区 | みずきが丘クリニック | 5 |
| 市外 | 日本医科大学千葉北総病院 (印西市) | 3 |
| | 下志津病院 (四街道市) | 2 |

・居住地と目的地のクロス集計



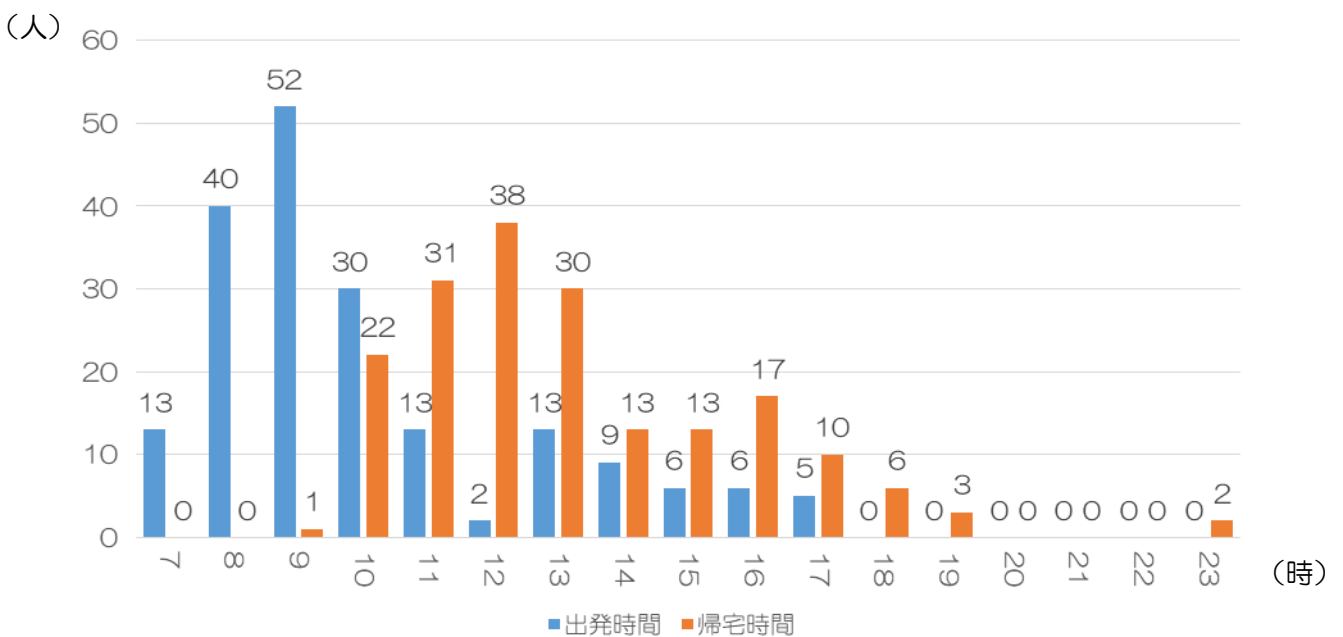
②移動手段

- ・「通勤・通学」や「買い物」と同様に自動車の利用が多い。
- ・路線バスを利用する人は「通勤・通学」や「買い物」と比べ、やや多くなっている。



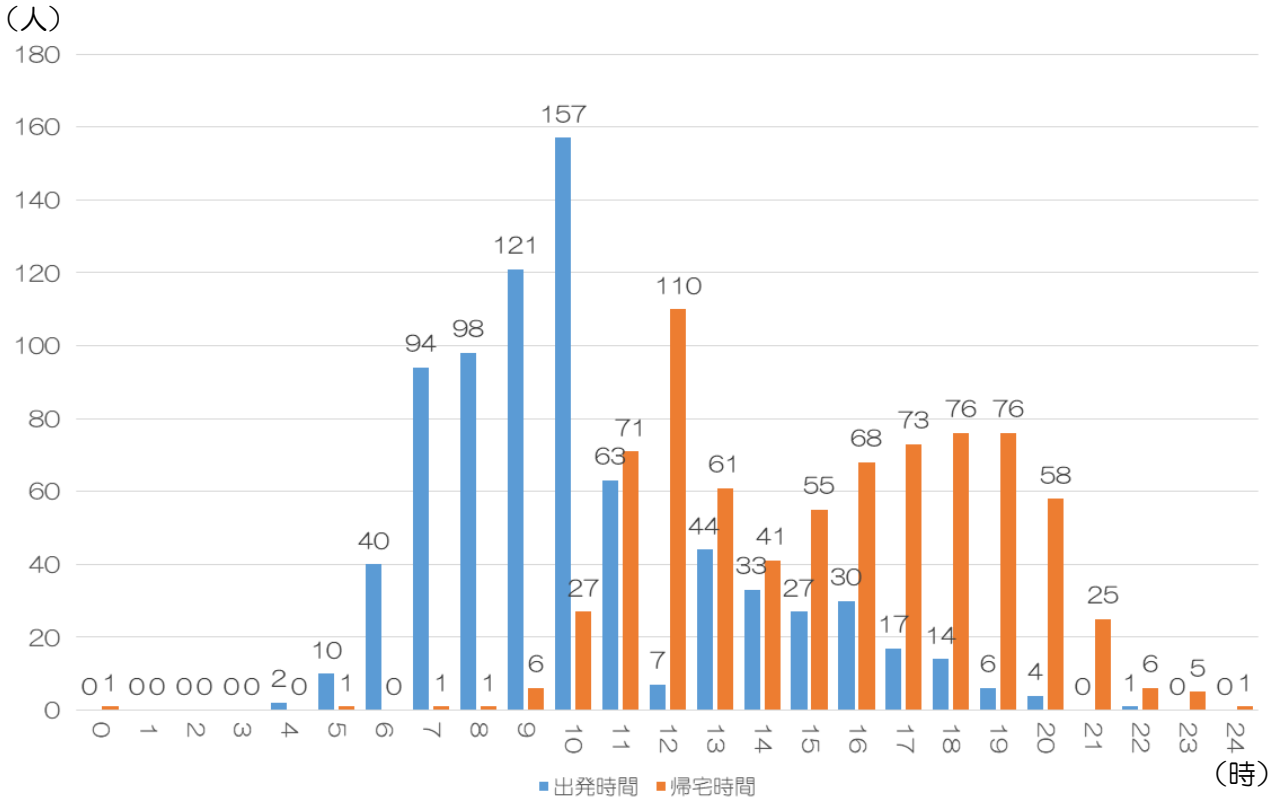
③外出時間

- ・出発時間は8時～10時頃が多く、帰宅時間は10時～13時頃が多い。比較的午前中～昼頃の通院が多い傾向が見られる。



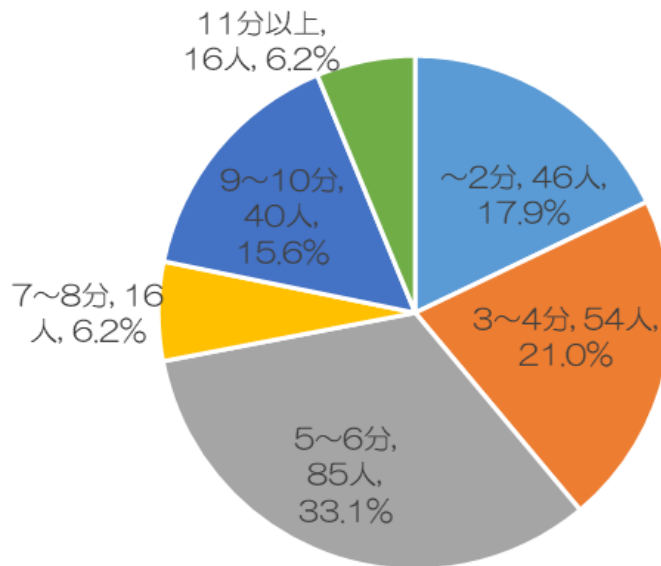
・「(1) 通勤・通学」、「(2) 買い物」、「(3) 通院」の外出時間の合計

- ・出発時間は7時～10時頃にまとまったピークを迎える。
- ・帰宅時間は12時前後と15時～20時頃に緩やかなピークを迎える。



【質問3】 最寄りのバス停名と自宅からの所要時間を教えてください。

・約39%がバス停から約4分以内（半径300m圏内※2）からの利用である。

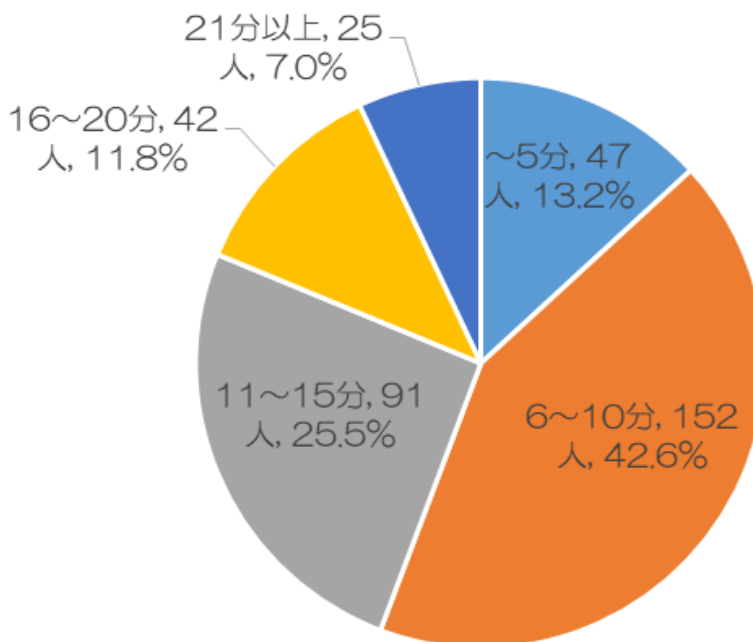


※2：徒歩1分=80mとして計算。

【質問4】

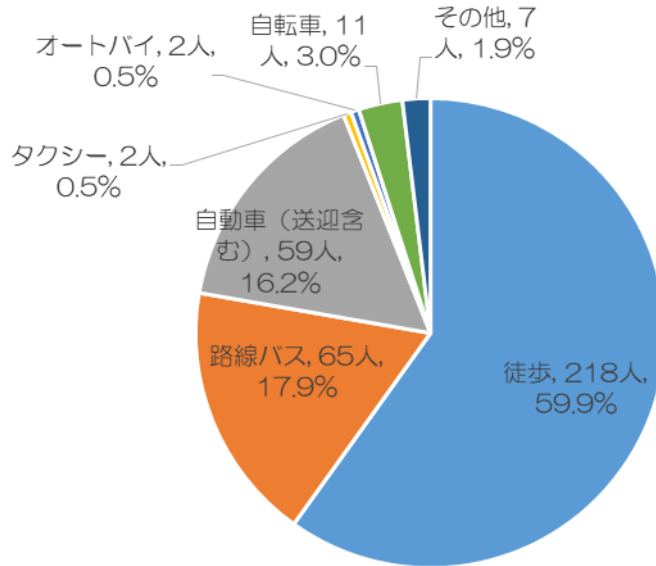
①最寄りの駅名と自宅からの所要時間を教えてください。

・駅からの所要時間が6~10分の人42.6%と最も多く、次いで11~15分が25.5%と多い。



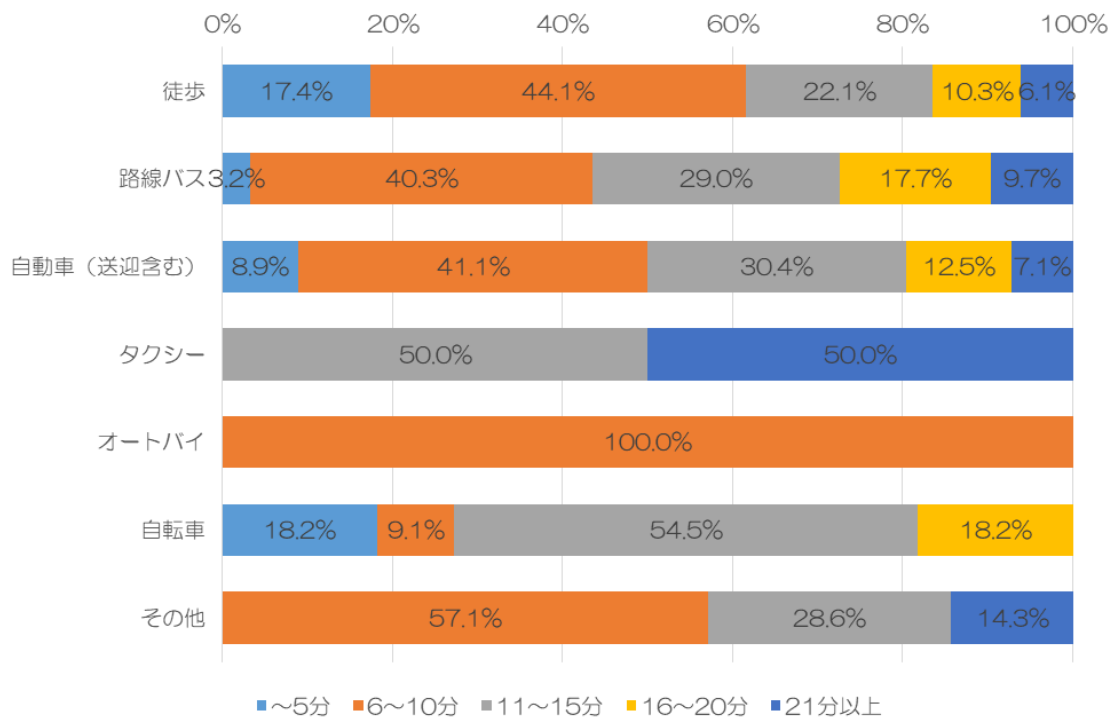
②駅までの移動手段を教えてください。（主なもの1つ）

- ・徒歩が59.9%と最も多い。次いで路線バス、自動車（送迎含む）が続く。
- ・徒歩は、60%以上が駅からの所要時間が10分以内（半径800m圏内※3）での利用である。
- ・路線バスや自動車でも駅までの所要時間が10分以内の人が45～50%を占める。一方、タクシーや自転車では11分～15分を要する人の割合も高い。



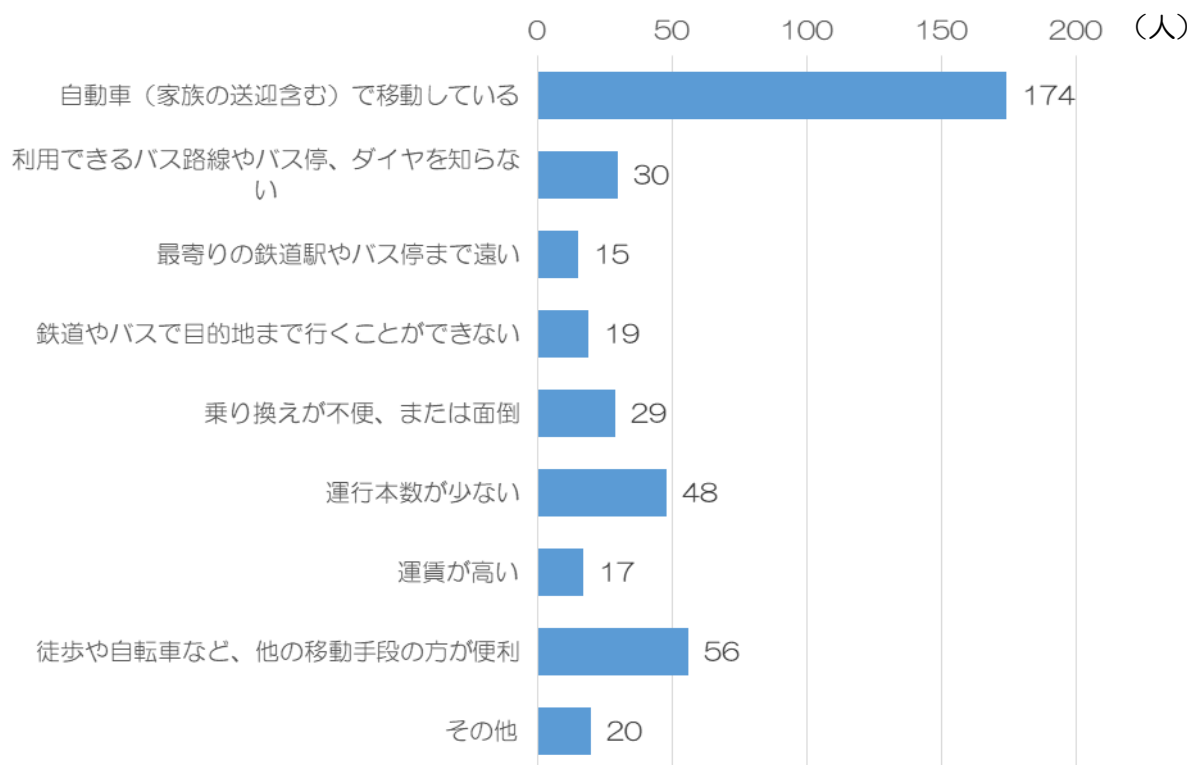
※3：徒歩 1分=80mとして計算。

・移動手段別の所要時間（自宅からの所要時間と駅までの移動手段とのクロス）



【質問5】 【質問2】の移動手段で路線バスと鉄道を選択しなかった方にお尋ねします。
路線バスを利用しない理由を教えてください。（該当するもの全てを選択）

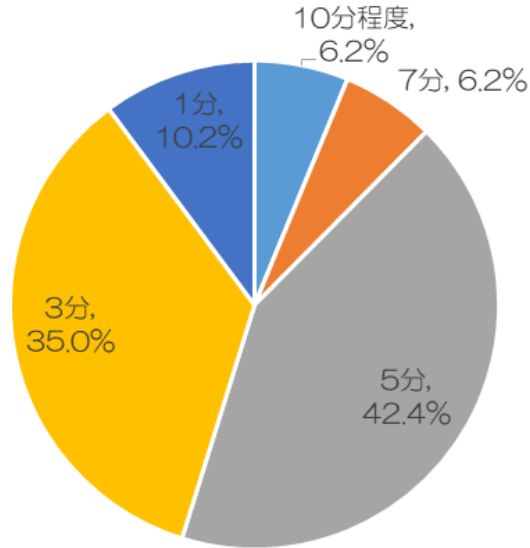
- ・「自動車（家族の送迎含む）で移動している」と回答した人が174人と最も多く、「徒歩や自転車など、他の移動手段の方が便利」、「運行本数が少ない」がそれに続く。



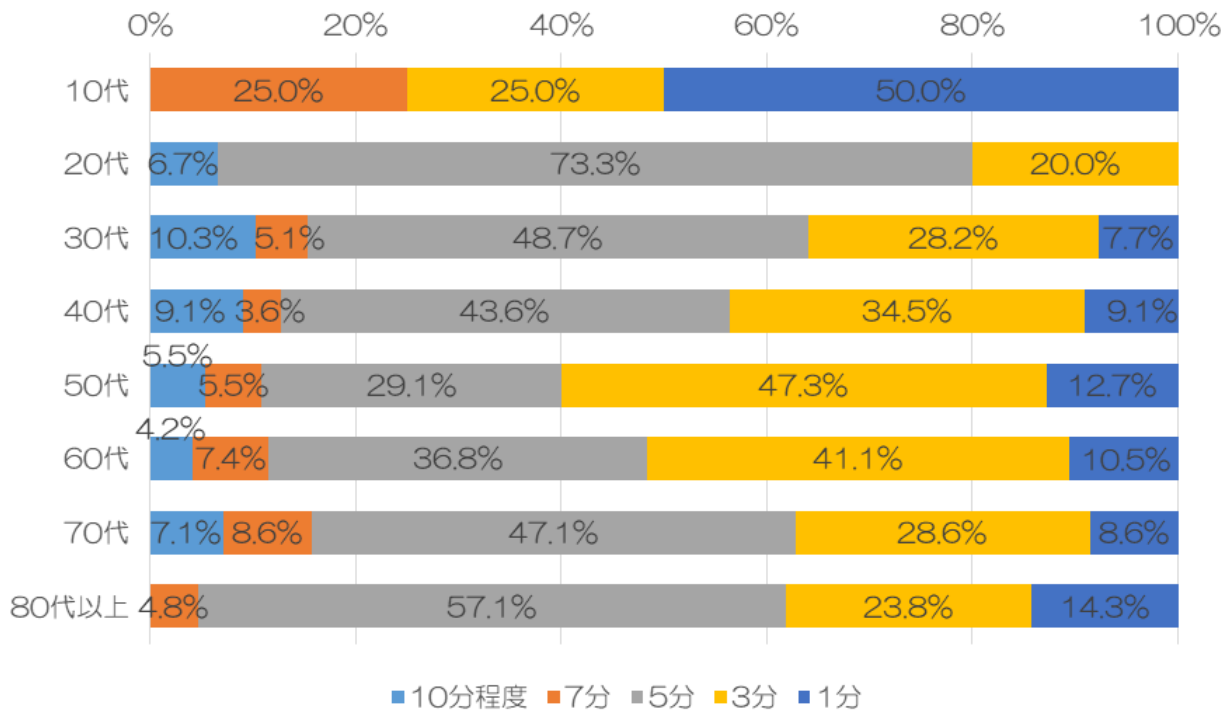
【質問6】 路線バスがどのようになればより使いやすくなるかお尋ねします。

①自宅からバス停までの所要時間

- 3分以内が全体の89.8%、5分以内が全体の54.8%を占める。
- 年齢別では、20代~40代、70代以上は5分以内の回答が約60~80%前後を占める一方、50代では同回答が約40%にとどまる。

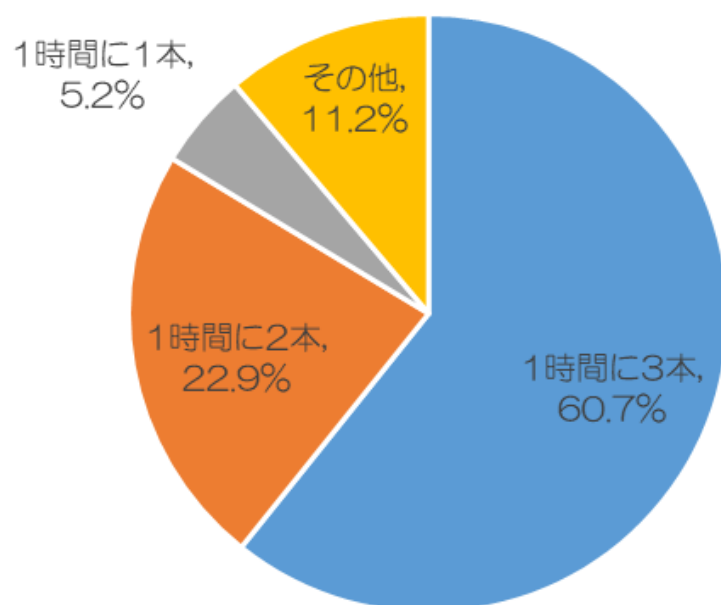


• 年齢と自宅から希望するバス停までの所要時間のクロス集計



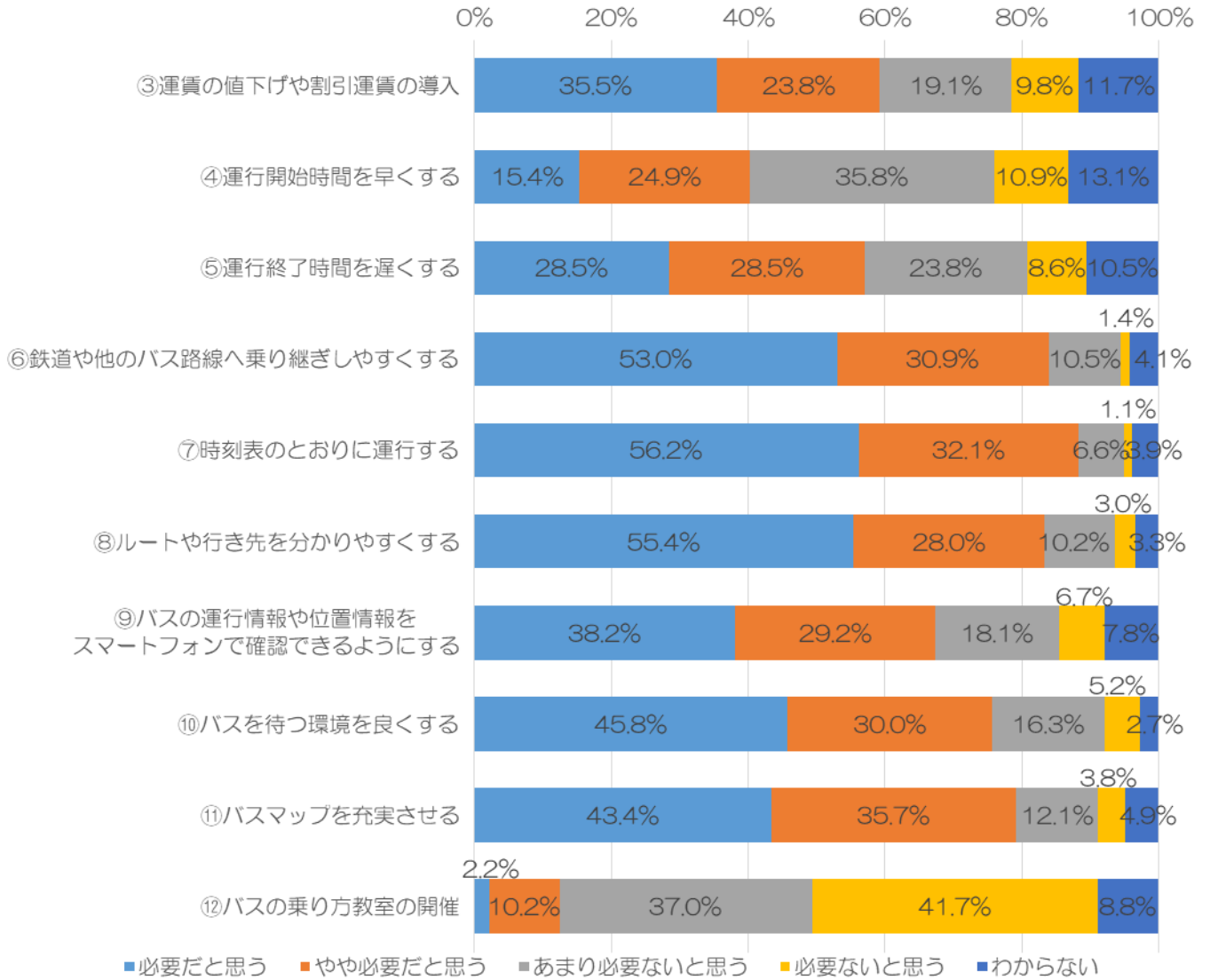
②バスの運行頻度

- ・「1時間に3本」が60%以上を占める。



③～⑫ その他の施策

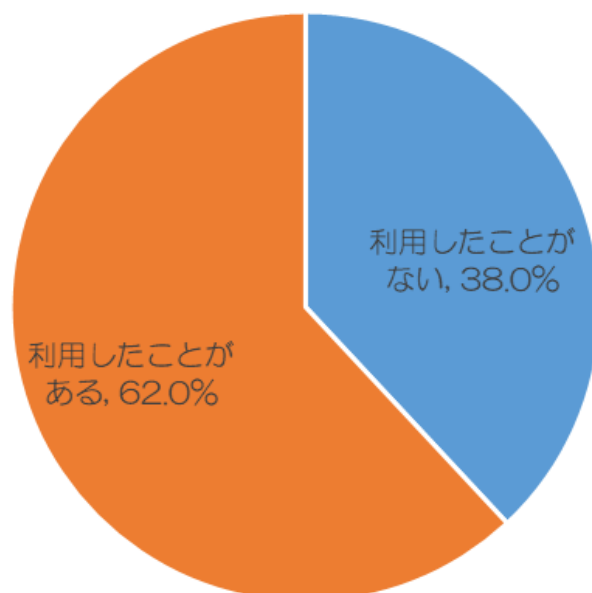
- ・ 鉄道やバスへのスムーズな乗り継ぎ、バス運行の定時性確保、ルートや行き先の明確化等が主に求められており、「必要だと思う」、「やや必要だと思う」が80%以上を占める。
- ・ バスの乗り方教室が必要だと思う人は約12%にとどまる。



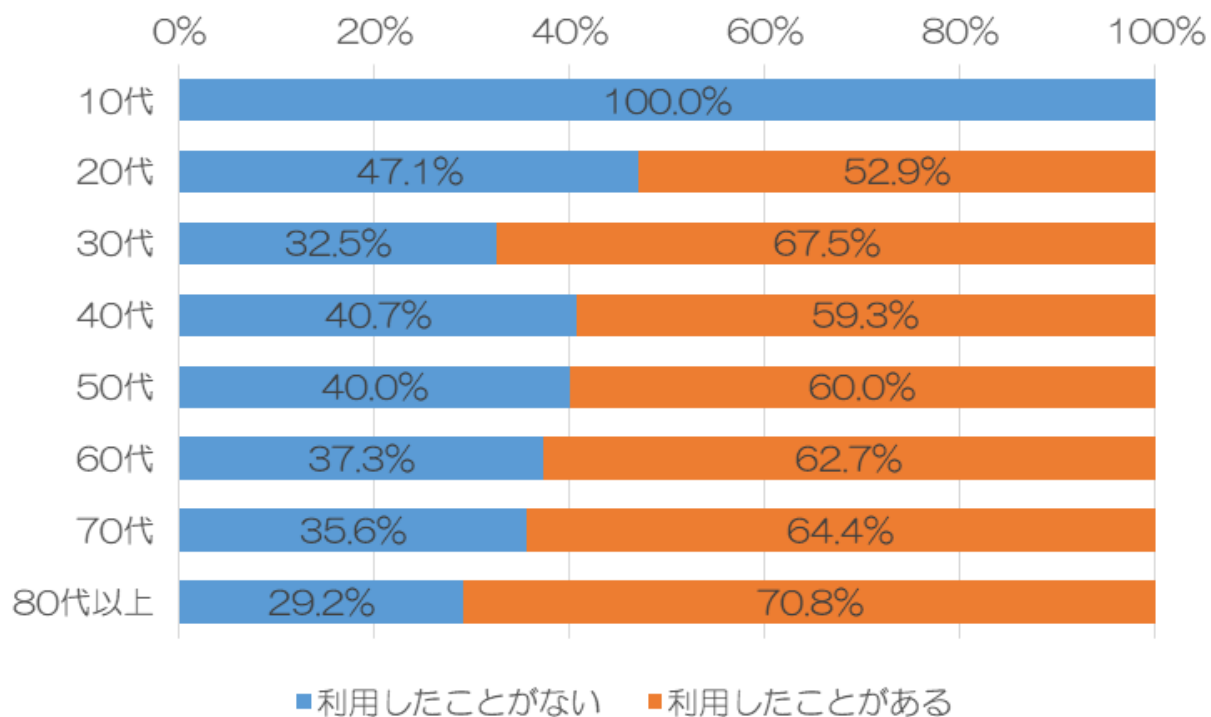
【質問7】 タクシーの利用状況をお尋ねします。

①タクシーの利用経験

- 半数以上の人々が「利用したことがある」と回答している。
- 高齢になるにつれ、タクシーを利用したことがある人の割合がやや増加する傾向が見られる。



• 年齢とタクシーの利用経験のクロス集計

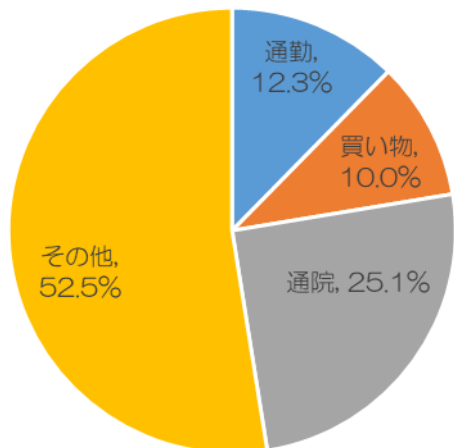


②主な利用目的（①で「利用したことがある」と回答した方のみ集計）

- ・「通院」が約25%であり、通勤、買い物がそれに続く。
- ・「その他」では夜遅い時の利用が約9%と、夜間の利用が多いことも伺える。

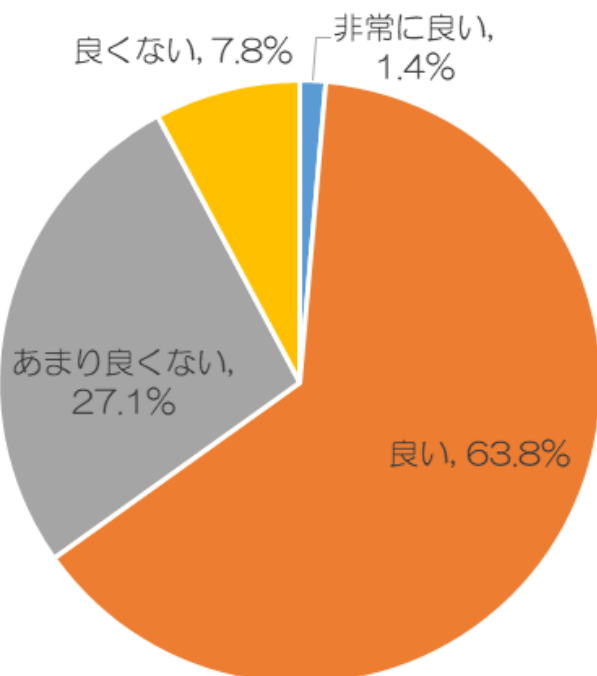
「その他」の記述（抜粋）

- ・夜遅い時
- ・食事・飲み会
- ・駅⇄自宅の移動手段
- ・旅行で利用
- ・外出時
- ・バスのない時間帯に利用
- ・荷物が多い時
- ・雨天時



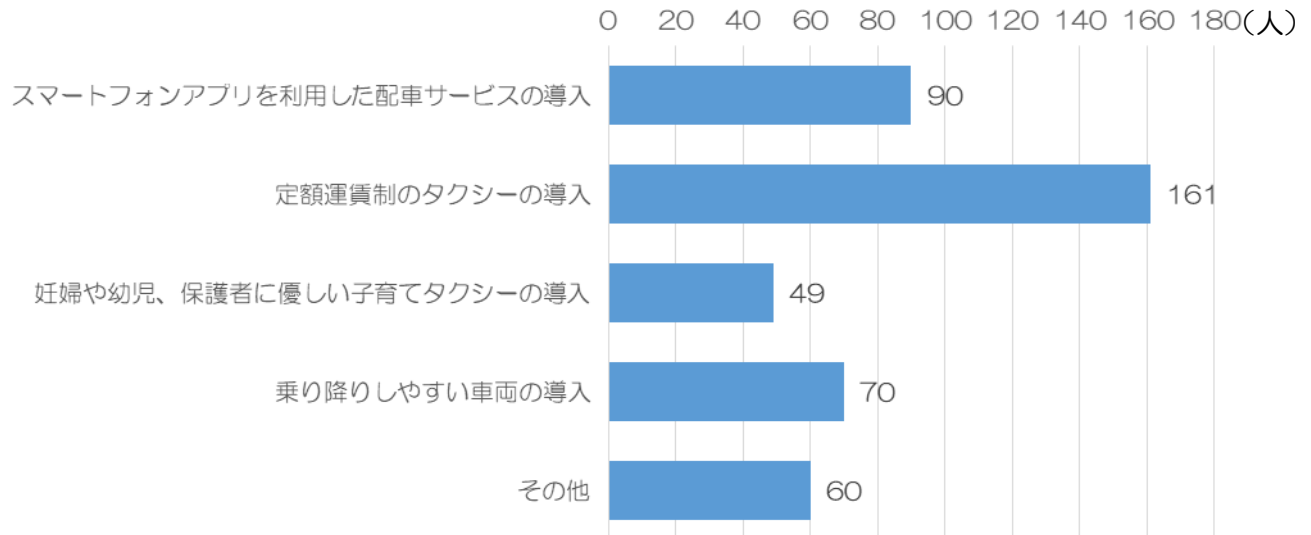
③市内タクシーのサービス水準（①で「利用したことがある」と回答した方のみ集計）

- ・「非常に良い」「良い」が約65%で多い。一方、「あまり良くない」「良くない」も約35%が回答しており、サービス向上の余地が伺える。



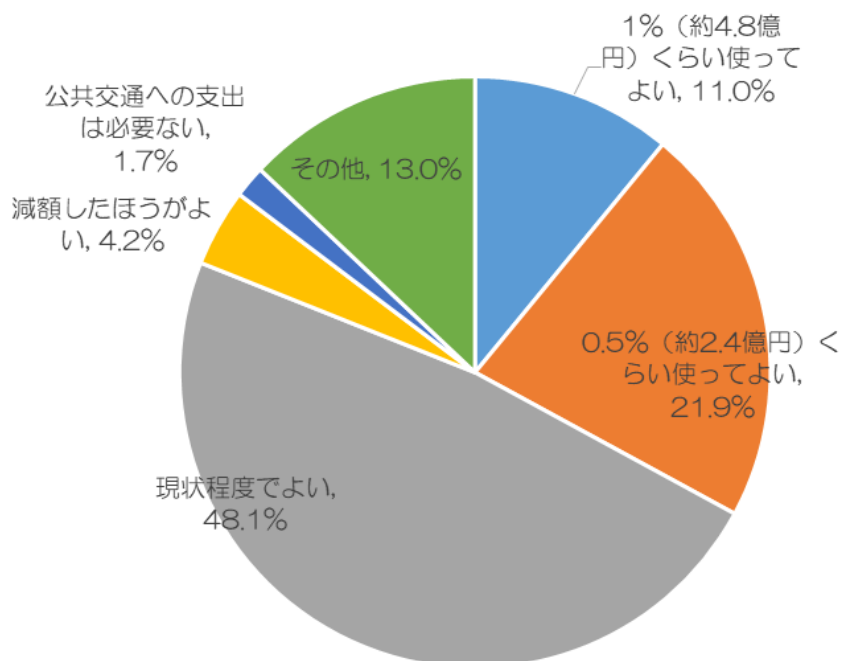
④タクシーが利用しやすくなるサービス

- ・「定額運賃制のタクシーの導入」が161人と最も多く求められている。
- ・「スマートフォンアプリを利用した配車サービスの導入」も90人と2番目に多い。

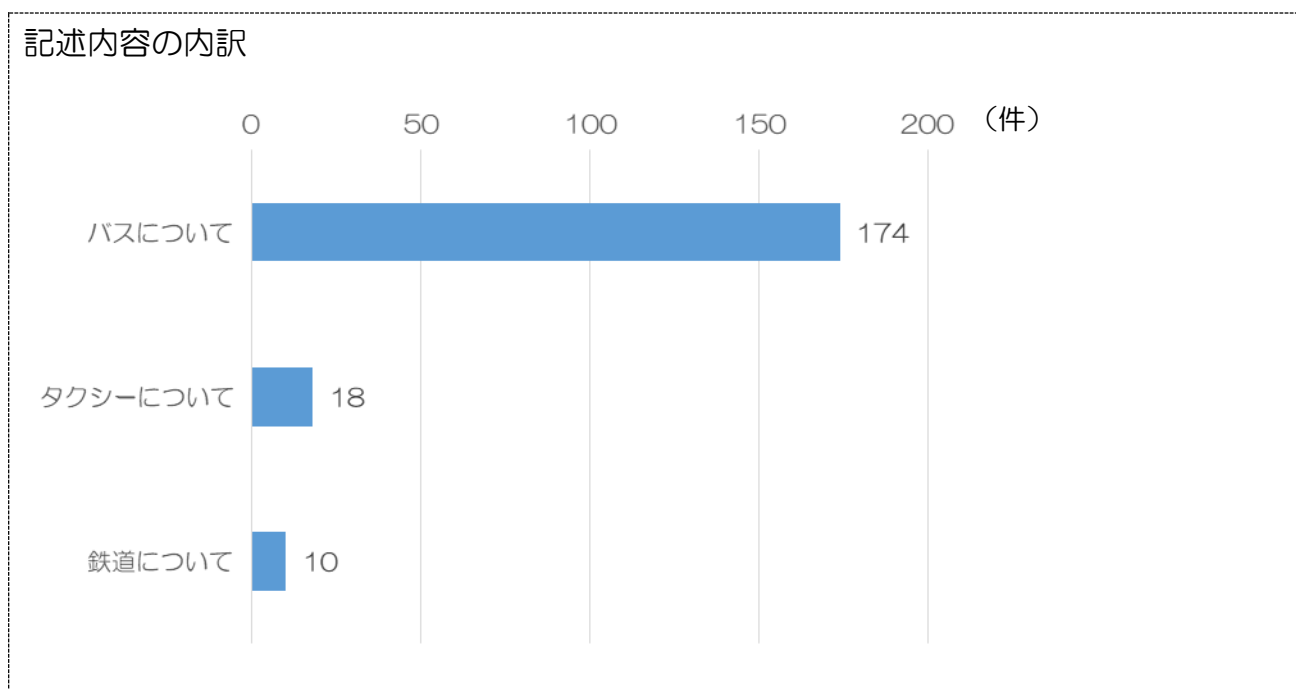


【質問8】バスなどの公共交通を便利にしたり、バス路線を維持したりするため、市では毎年度、予算の約0.2%にあたる1億円を使っています。公共交通関連予算について、あなたのお考えに該当するもの1つに○を付けてください。

- ・「現状程度でよい」が48.1%と最も多い。また、増額を許容する回答が合わせて約33%と、「減額した方がよい」「公共交通への支出は必要ない」の約6%を上回る。



【質問9】 その他、市内の公共交通に関するご意見などがありましたら、ご記入ください。（抜粋）



1. バスについて（174件）

(1) 運行本数について（30件）

①佐倉地区

- バスの本数が増えたら、車に乗らずバスに乗りたいたと思いますが、現状 JR 佐倉駅の本数があまりにも少なく、結局車に乗ってしまいます。
- 家では中学生がバスを使っております。通学時間帯に本数があり、時刻がもっとわかりやすくなると良いと思います。
- 私の住んでいる所では、JR 佐倉駅へ行くバスがありません。バスを使用する場合は、本町バス停から京成佐倉駅に出て、JR 佐倉駅に出る方法しかありません。白銀方面から JR 佐倉駅へのバスがありますが、バス停まで10分以上かかり、本数も1日5本ぐらいしかありません。バスの本数を増やしていただけたら助かります。高齢の方もたくさん住んでおりますので…。
- 白銀から JR 佐倉への便が少なすぎ。通学、通勤に不便。送迎する家族の負担が大きい。行き便があっても帰りがなくバスを使いたくても使えない。

②根郷地区

- 南図書館方面行のバスの本数を増やしてほしい。

- ・山王地区にはスーパーなども近くになく、自動車がないと買い物すらできません。年配者は大変だともいます。もう少しバスの本数を増やしてほしいです。

③臼井地区

- ・バスの小型化により運行本数の増便
- ・バスは減らした方がいい。利用者が少ないので。
- ・可能であれば、臼井方面から寺崎へ行く本数を増やしてください。帰りのバスも少なめなので増えたら助かります。

④志津地区

- ・1時間に1本では使い勝手悪い。
- ・駅に出るのにバスのルートと本数が少なすぎる。バスを増やせば車で駅に送る送迎渋滞が少なくなるのではないかと思う。
- ・土日、休日のお昼ごろのバスを増やしてほしい。
- ・ユーカリ駅までの本数がもう少し増えると便利だともいます。
- ・南中野⇄ユーカリが丘駅間のバスが1日2本しかありません。志津駅より、ユーカリが丘の方が、買い物にしても、子供の習い事にしても、通院にしても利用頻度が高いので、本数や停留所を増やしてもらえるとありがたいです。

⑤千代田地区

- ・昨年ダイヤ変更があり、朝のバスがかなり減ったイメージがあります。通学でバスを使っている子供たちが7時台のバスが少なすぎると困っています。土日部活があるので、朝30分に1本はきついです。

(2) 運行時間について (22件)

①佐倉地区

- ・バスの本数が少なくていいので、終電辺りまでであると助かる人が多いと思います。
- ・バスと鉄道の駅に着く時間が同じで乗り換えることができない。
- ・始発を今より早く、最終を今より遅くしてほしい
- ・定時にバスが来たことがない！時間を守ってほしい

②根郷地区

- ・京成佐倉から JR 佐倉駅行きの最終バスの時間をもう少し遅くしてほしい。
- ・バス時間と JR の時間が全く連動していないので不便。

- ・妻が通勤にバスを利用しているが、朝のバスのダイヤがめちゃくちゃだという事です。8時台のバスは時刻通りにほとんど到着したことがない、いつもイライラする、という事です。何とかして欲しい。

③臼井地区

- ・過去に利用して時間通りにバスが来たことがなく、早めに待ったりと心配しながらの利用が多かった。

④志津地区

- ・時間が守られていれば寒い日も待てるかなと思う。
- ・終バスの延長（0時台欲しい）
- ・家族が利用している、開拓地から四街道へ運行している路線バスについて、時刻表通りにバスが来ないことが多い。
- ・最終バスの時間が早く不便（特に土曜、休日）
- ・大型病院へのバスですが、8時、9時台到着便が15～20分ごとにあると便利だと思います。

⑤千代田地区

- ・現在、小生健康なので旅が多い。帰宅が遅くなった時、休日などは終バスが早くなるので、タクシーを利用することが年に数回は発生する。この時、平日と同じ位の終バス時刻になれば有難いと実感する。

(3) 運行ルートについて（45件）

①佐倉地区

- ・スーパー等が寺崎地区にあるので今は車の運転ができるから不便はないのですが、京成佐倉～寺崎の商店街までバスがあると助かるなと思います。運転できない方はバスがあればと言っています。
- ・人口の少ない地域でバスの通らない地域があるが、公共交通とすれば、多少の格差は仕方なしとしても、通わぬ地域があってはならないと思います。民間企業バスの通わぬ地域こそ、公共交通の発揮する場所と仕事ではないでしょうか。

②根郷地区

- ・聖隷佐倉市民病院へ行く JR 佐倉駅発のバスがほしい
- ・ベイシア前の道路をもう少し活用して（JR 佐倉から）ユーカリが丘行きのバスなどを作ってほしい。

③臼井地区

- 臼井から印西牧の原方面へのバスを運行してもらえると交通の便が良くなり、移動の手段が増えるので、私も含めた若い世代の人達も喜ぶと思うので、印西と結ぶ路線ができることを願っています。
- 臼井台は駅から遠くはありませんが、坂が多いので、坂の上り下りが大変そうな年配の方を見かけることがあります。利用しやすい交通手段があれば良いのにと思ったことがありました。自分の帰宅が遅くなった時やこの先娘が大きくなった時のことを考えると、夜道を歩かせるのが心配なので、バスがあればと思うことがあります。
- 朝10時頃と夕方4時ぐらいに臼井駅から稲荷台4丁目の広いところ（国道296号「臼井台」交差点）まで通っていただけたら良いと思っています（小型バス）。近所の人たちがここまで来てくれると良いねと話しています。

④志津地区

- 勝田台～東邦病院方面へのバス路線、「勝田台長熊線」が全通してから現在まで、この区間を直通するバスがない。現在ユーカリが丘駅からの直通バスはあるが、勝田台方面にも路線があると良いと感じる。
- もっと小回りの利く車に替えて家の周りを走ってくれればいい。高齢になっても安心できる。
- エコスの前を通過してほしい。
- ユーカリが丘駅はバスの便が非常に悪いです。志津や臼井のように、JR 佐倉や四街道駅に行ってくれるバスがあるともっと使いやすいのになと思います。
- イオンタウンまで行っていたらと多くの方たちが話していました。イオンの無料バスが1日3回しか走っていないので帰りがモノレールだと階段があるので大変だと話していました。1時間2本位走らせて頂けたら助かると話していました。
- 志津、ユーカリが丘から聖隷病院にバスで行かれるようにしてください。
- 生活に必要な公共施設へ行ける路線が増えると助かります。（市役所、最寄りスーパー、病院、娯楽施設等）
- 西志津から東邦大病院、市役所までのバスがあると便利です。
- 中志津からユーカリが丘に向かうバスが欲しいです。

(4) 運行車両について (8件)

①佐倉地区

- ・ご年配の方や体の不自由な方のために（もちろん普通の人も含めて）座席がたくさんあり、確実に座れるようなバスがあれば良いのではないかなと思う。
- ・車いすに乗っている方がカッパを着て、雨の中でバスを待っているのを見かけたことがあります。低床リフト付バスの本数が増えると良いです。

②根郷地区

- ・利用者が少ないのなら小型バスにして、燃料費等を少しでも節約する。

③臼井地区

- ・車種によっては段差が大きく、乗り降りが困難なことがあります。車道と歩道との関係や車内の段差など、乗りやすいものを望みます。よろしく願いいたします。

④志津地区

- ・マイクロバスを採用する

⑤千代田地区

- ・朝夕の通勤、通学の時間帯は大型バスが必要だと思うが、日中は小型のバスで十分だと思う。

(5) 運賃について (13件)

①臼井地区

- ・ちばグリーンバスももう少し安くなると嬉しいです。
- ・バスについて、高い運賃のイメージがあるのであまり利用しませんが、都バスのように一律運賃で乗ることができたら、もっと気軽に利用できると思います。
- ・電車よりバスの定期が高いから同じくらいの割引率にしてほしい。

②志津地区

- ・運賃をもう少し安く出来たらと思う。
- ・東京のようにシルバーパスで高齢者は無料だと良い。

③千代田地区

- ・今後、高齢化が進み、免許返納する人が増えていけるように、バスやタクシーの利用がしやすいようにしていただきたい。韓国では、65歳以上の人の電車やバスが無料なので、お年寄りが大きな公園などに集まり、たくさんのサーク

ルが自然に出来ていて楽しそうでした。日本では、残念ながらイオンの中を散歩する老人が多くなっているように思います。

(6) バスの利用環境について (36件)

①佐倉地区

- バスの停留所のイスと屋根の設備の充実を希望します
- バス停付近が暗すぎる。

②根郷地区

- ネットでバス時刻表などを調べるが、とても分かりづらい。もう少しわかりやすくならないでしょうか…
- バスなどを利用したいと思う時は、市内の会合(宴席)に参加するに、車が運転できない場合です。しかしながら、バス路線や運行時間(時刻表)が分からない事や、そのような席に参加することがごくまれであることから、家族に送迎してもらっているのが現状です。つい最近、その家族の送迎ができない宴席があり、バス路線や運行時間がすぐ調べられれば良いと思いました。

③臼井地区

- HPの時刻表が分かりづらく、利用をあきらめたことがある。(まだ車を持つ前で、住み始めて間もなかった事もありますが…。)
- 夕方、夜、朝など少し暗い時にもう少し危なくないよう、バス停など、電灯で足元付近を照らして安全に利用できるよう、市で改善してもらえるとありがたいです。遅い時間など、朝も利用者が少ない停車場での乗車は、ちょっと女性は安全が心配になるので、もう少しガードをしてもらったり近辺を明るくしてもらいたいです。
- 通勤で江原台⇔京成臼井駅まで、ちばグリーンバスを利用していますが、四街道→臼井→江原台までのバスが夕方30分位遅くなって来る。バス停にバスの位置情報等を希望します。

④志津地区

- バスの運行状況が分かるシステム
- 駅前ロータリーにバスルート地図が必要では?
- 雨の日は時間帯によって学生が多く、バス停で待っていても乗れないことがある。

- ・現在はバスを利用することはないが、これから自動車移動が出来なくなる年齢になる。佐倉市移動のための詳細なバスマップを充実して欲しい。各家庭（特に老人世帯）に配布してもらいたい。
- ・バスを待つ環境を良くする（ベンチ、屋根）。
- ・電子マネーの利用が出来ないものがいくつかある。利便性の向上には導入が必須と考える。

（7）コミュニティバスについて（20件）

①佐倉地区

- ・市の循環バスの料金が昨年値上げされましたが、路線バスの料金と同じ位か？区間によっては以前と同じ100円とは申しませんが、値上げ幅が倍とは？考慮の程お願いいたします。

②根郷地区

- ・コミュニティバスが通るようになり、便利になりましたが、可能であればJR佐倉駅までの路線があれば高齢者に更に便利になると思います。

③臼井地区

- ・ユーカリ～臼井のコミュニティバスができて便利になりましたが、早い時間、遅い時間の設定がないので、もう1本ずつ位増えたらもっと便利に使えと思っています。利用客があまり多くない気もするので、なくなってしまわないか心配です。

④志津地区

- ・志津近辺のコミバス、非常に助かっております。願わくは、便を少し増やしてほしいです。エコス方面にも来てくれたら本当にうれしいです。
- ・巡回バス（ユーカリ駅～殖産中央）を利用しますが、一駅でも200円、割引できませんか。
- ・循環バスがある一定の時間帯に少なくとも1時間に1本以上あることが望ましいと思う。その場合、料金が一律であり、回数券も利用可能ならば外出にも助かるはずだ。

⑤和田地区

- ・コミュニティバスは、路線バスが少ないところを多く走らせてほしい。物井駅などは本数があるはず。和田は、20時の1本では不便です。南酒々井からの

本数が欲しい。駅からのアクセスが悪いのはコミュニティバスを走らせても乗らないです。

⑥千代田地区

- 決まったバス停以外でも気楽に乗り降りできる、小回りのきくバスだと便利。特に大学病院行のバスならば、どこでも手を挙げれば乗せてくれるバスだとありがたいと思う。
- コミュニティバス運行、ありがたいです。

2. タクシーについて（18件）

（1）運賃やサービスについて（10件）

①佐倉地区

- ・運転免許を返納した場合、タクシーの割引（期間を定めず）があれば良い

②根郷地区

- ・タクシーについて、あえて遠回りさせるドライバーが多い。

④志津地区

- ・子供が小さい時、通院のためタクシーを利用しました。もう少し料金が低いと助かるなあと思いました。高齢者の方の場合も同じだと思います。

⑤千代田地区

- ・タクシーでの利用が気軽にできると良い。シルバー定期券（月回数、目的地が決まっている利用）みたいなものがあると良い。買い物、病院等に行きたい。駅にも。

（2）タクシーの形態について（4件）

①佐倉地区

- ・乗合タクシー

②志津地区

- ・乗合タクシーがあると便利。
- ・お年寄りが安く使える福祉タクシーがあると良いのでは。

（3）タクシーの配車や待ち時間について（4件）

①臼井地区

- ・また、仕方ないかと思いますが、雨の日深夜に長時間タクシーを待つことがあるので、改善されたらうれしいです。

②志津地区

- ・ウーバーなどでタクシー配車できる環境づくりがコストパフォーマンスは高いのではないのでしょうか。タクシー運賃が高すぎる⇒使う頻度が低すぎる。この関係を打破しないと改善はできない
- ・終バスが早くなったのでタクシーが待つほしい。30分待つのはつらい。
- ・土日の運行が少ないので増やしてもらいたい。

3. 鉄道について（10件）

（1）停車駅や行き先について（8件）

①根郷地区

- 物井駅に通勤快速を止めてほしい。佐倉市ではないが、利用者の多くが佐倉市民なので。

②臼井地区

- 江原台のロータリーに駅が出来てほしいです。

③志津地区

- 京成電車の臼井行を佐倉行（又はもっと先）まで延長して下さると良いと思います。
- 志津、ユーカリが丘、うすいと特急が止まらないのはおかしいです。

（2）ダイヤや運行本数について（2件）

①志津地区

- 京成線 臼井～佐倉間の本数を少し増やせないか。全便とは言わず、夜間の臼井止まりの一部でもいいから増えると便利になると思う。
- ユーカリが丘線のダイヤの見直し（運行本数を増やす）に向けて行政から費用投下

(3)「通院」(していない場合は回答不要です)

| | |
|----------------------------|---|
| ①目的地 (主なもの1つ) | 1. 佐倉地区 2. 根郷地区 3. 臼井地区 4. 志津地区 5. 和田地区 6. 弥富地区 7. 千代田地区 8. 県内市町村 9. 県外 |
| | (具体的な施設名称：) |
| ②移動手段(該当するもの全てに○を付けてください。) | 1. 徒歩だけ 2. 鉄道 3. 路線バス 4. 送迎バス 5. 自動車(自分で運転) 6. 自動車(家族等の送迎) 7. タクシー 8. オートバイ 8. 自転車 9. その他() |
| ③外出時間 | 行き(午前・午後)時ごろ自宅を出発) 帰り(午前・午後)時ごろ自宅に到着) |

【②移動手段の記載例】 自宅→バス→電車→目的地の場合(2と3に○)

| | |
|-----------------------------|---|
| ②移動手段(該当するものを全てに○を付けてください。) | 1. 徒歩だけ ②. 鉄道 ③. 路線バス 4. 送迎バス 5. 自動車(自分で運転) 6. 自動車(家族等の送迎) 7. タクシー 8. オートバイ 8. 自転車 9. その他() |
|-----------------------------|---|

【質問3】

| | | |
|-----------------------------|---------------|----------------------|
| 最寄りのバス停名と自宅からの所要時間を教えてください。 | 【バス停名】 () | 【自宅からの所要時間】 約()分 |
|-----------------------------|---------------|----------------------|

【質問4】

| | | |
|-----------------------------------|--|----------------------|
| ①最寄りの駅名と自宅からの所要時間を教えてください。 | 【駅名】 () | 【自宅からの所要時間】 約()分 |
| ②駅までの移動手段 教えてください。 (主なもの1つ) | 1. 徒歩 2. 路線バス 3. 自動車(送迎含む) 4. タクシー 5. オートバイ 6. 自転車 7. その他() | |

【質問5】【質問2】で路線バスと鉄道を選択しなかった方にお尋ねします。

| | |
|---|---|
| 路線バスや鉄道を利用しない理由を教えてください。 (該当するもの全てに○を付けてください。) | 1. 自動車(家族の送迎含む)で移動している 2. 利用できるバス路線やバス停、ダイヤを知らない 3. 最寄りの鉄道駅やバス停まで遠い 4. 鉄道やバスで目的地まで行くことができない 5. 乗り換えが不便、または面倒 6. 運行本数が少ない 7. 運賃が高い 8. 徒歩や自転車など、他の移動手段の方が便利 9. その他() |
|---|---|

【質問6】路線バスがどのようになればより使いやすくなるかお尋ねします。①～③は1つ、④～⑪は最も当てはまる数字に○を付けてください。

| | | | | | |
|---|-----------|-----------|------------|-----------|----------|
| ①自宅からバス停までの所要時間 | 1. 1分 | 2. 3分 | 3. 5分 | 4. 7分 | 5. 10分程度 |
| ②バスの運行頻度 | 1. 1時間に3本 | 2. 1時間に2本 | 3. 1時間に1本 | 4. その他（ ） | |
| 質問項目 | 必要だと思う | やや必要だと思う | あまり必要ないと思う | 必要ないと思う | わからない |
| ③ 運賃の値下げや割引運賃の導入 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 運行開始時間を早くする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 運行終了時間を遅くする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 鉄道や他の路線バスへ乗り継ぎしやすくする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 時刻表のとおり運行する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ ルートや行き先を分かりやすくする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ バスの運行情報や位置情報をスマートフォンで確認できるようにする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ バスを待つ環境を良くする（ベンチ、屋根の設置等） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ バスマップを充実させる（地図上にバスの路線を表示する、時刻表を掲載する等） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫ バスの乗り方教室の開催 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

【質問7】タクシーの利用状況をお尋ねします。それぞれ1つに○を付けてください。

| | |
|--|---|
| ①市内でタクシーを利用したことがありますか。 | 1. 利用したことがない → ④のみお答えください。 2. 利用したことがある |
| ②主な利用目的を教えてください。 | 1. 通勤 2. 買い物 3. 通院 4. その他（ ） |
| ③市内のタクシーのサービス水準についてどう思いますか？ | 1. 非常に良い 2. 良い 3. あまり良くない 4. 良くない |
| ④どのようなサービスがあれば、市内のタクシーがより利用しやすくなると思いますか？ | 1. スマートフォンアプリを利用した配車サービスの導入 2. 定額運賃制のタクシーの導入 3. 妊婦や乳幼児、保護者に優しい子育てタクシーの導入 4. 乗り降りしやすい車両の導入 5. その他（ ） |

公共交通に関する意見交換会 開催結果

公共交通に関する意見交換会 ～開催レポート～

1. 意見交換会の概要

- **開催日時：** 令和元年8月25日（日）10：00～12：00 ミレニアムセンター佐倉
令和元年8月31日（土）14：00～16：00 志津公民館

- **開催目的**

持続可能な公共交通網を形成するための「第2次佐倉市地域公共交通網形成計画」の策定作業を進めるにあたり、市民の皆さまの公共交通に対する意見をお聞きするために開催しました。

- **参加者数：**29名（ミレニアムセンター佐倉：18名、志津公民館：11名）

- **意見交換会の内容**

参加者を6名程度のグループに分け、「現在の公共交通良ところ」「より多くの方が公共交通を利用するには」というテーマに沿って、ワークショップ形式で意見交換を行いました。

| | |
|---|--|
| 1 | 開会のあいさつ |
| 2 | 都市計画課からの説明 |
| 3 | グループワーク ・自己紹介 ・【テーマ1】現在の公共交通の良いところ、悪いところ ・【テーマ2】より多くの方が公共交通を利用するには ・発表準備 |
| 4 | 休憩 |
| 5 | 発表（1グループ5分程度） |
| 6 | まとめ |



グループ発表の様子

2. 意見交換会結果一覧

□ テーマ1「現在の公共交通の良いところ・悪いところ」

○：良いところ ×：悪いところ

【バス】

料金・割引、行先・ルートに関する意見が多くでました。周知という点で、割引やバス路線など、幅広い分野の周知が足りていないことがわかりました。

| バス | | | |
|--------|------|-------------------------|-----------------------------------|
| 料金・割引 | 料金 | ○ | 安い |
| | | × | 高い |
| | | ○ | 200円は助かっている |
| | | ○ | ICカードが利用できる |
| | | × | 無料循環交通を実施している自治体もある |
| | | × | 料金がわからない |
| 免許返納割引 | ○ | 発行が簡単 | |
| | × | 申請が面倒 | |
| | × | 割引期間が短い | |
| 本数 | ○ | 本数が多い | |
| | × | 本数が少ない | |
| | × | 草ぶえの丘から、15時頃より前に増便してほしい | |
| | × | 朝夕は30分毎の本数がほしい | |
| 行先・ルート | 行先 | ○ | 病院、市役所、スーパーに行きやすい |
| | | ○ | 千葉方面に行きやすい |
| | | × | 日本医大行きがほしい |
| | | × | ベイシア行きがほしい |
| | | × | 志津から聖隷病院行きがほしい |
| | | × | 先崎の南無の郷霊園行きがほしい |
| | | × | ユーカリが丘駅～青菅～志津コミュニティセンター～志津駅行きがほしい |
| | | × | 志津コミュニティセンター、長割遺跡行きがほしい |
| | 公共施設 | × | 公共施設のアクセスが悪い |
| | | × | 公共施設には市のバスが入るべき |
| | | × | 公共施設を循環する路線の導入 |
| | 市内路線 | × | バス路線がわかりにくい |
| × | | 経由地がわかりにくい | |

| | | | |
|------------------|------------------|---|------------------------|
| | その他 | × | 路線を拡充してほしい |
| | | × | コミバスをバス路線があるところにも走らせる |
| | | × | 京成佐倉～JR佐倉以外のアクセスが悪い |
| | | × | バスの集約や融合、一本化をする |
| 定時性 | | ○ | 時間通りに来る |
| | | × | 時間通りに来ない |
| | | × | 既に発車したのかわからない |
| 時間帯 | 鉄道 接続 | × | 京成線との接続が悪い |
| | | × | 早朝・深夜の列車に接続してほしい |
| | その他 | × | 始発が遅く、終発が早い |
| | | × | 時間が合わない |
| | | × | 便数が少ない時間帯がある |
| | | × | ダイヤ編成が不合理 |
| × | 寒い時や酷暑の時は早く乗車したい | | |
| マナー・態度 | | ○ | 乗客のマナーが良い |
| | | ○ | 乗務員の態度が良い |
| | | × | 乗務員の態度が悪い |
| バス停 | | ○ | 停留所名がわかりやすい |
| | | ○ | 近くに停留所がある |
| | | × | 停留所の位置が危ない |
| | | × | バス停表示がない |
| 自由乗降区間 (コミバス) | | ○ | 自由乗降区間がある |
| | | × | 自由乗降区間を拡大してほしい |
| 周知 | | × | 地域住民だけでなく、一般の人にも広報する |
| | | × | 自主返納割引を周知する |
| | | × | 時刻表の作成・配布 |
| | | × | 中志津からユーカリが丘駅行きが知られていない |
| | | × | 宣伝が足りない |
| 地域性 | | ○ | 場所によっては便利 |
| | | × | 空白地域が残っている |
| | | × | 南臼井台地区が空白地域となっている |
| | | × | 市西側の利便性も高めるべき |
| その他 | | ○ | 荷物が多い時に便利 |
| | | ○ | 安心して乗れる |
| | | ○ | 乗客が多い |
| | | ○ | 比較的空いている |
| | | ○ | 初年度にしては良い |

| | | |
|-----|---|--------------------|
| その他 | ○ | コミュニティバスを走らせたこと |
| | ○ | 助かっている |
| | × | 小型バスの導入 |
| | × | 損益を別にする |
| | × | 福祉に力を入れてほしい |
| | × | 高校生が席を譲ってくれない |
| | × | 若い人がコミュニティバスを嫌っている |
| | ○ | 佐倉市バスマップ、大変良い |
| | × | 京成佐倉のバス案内所の営業時間が短い |

【タクシー】

鉄道駅の配車状況について、多くの意見をいただきました。また、料金や予約、利用時間といった点で、不便と感ずることが多いことがわかりました。

| タクシー | | | |
|--------|-----|-----------------|---------------------|
| 料金 | × | 料金が高い | |
| | × | 初乗り料金の範囲がわからない | |
| 予約 | × | 早朝の予約ができない | |
| | × | 電話予約が億劫 | |
| 配車 | 鉄道駅 | × | 京成佐倉駅北口が少ない |
| | | × | 臼井駅北口が少ない |
| | | × | 志津駅南口、ユーカリが丘駅南口が少ない |
| | | × | 志津駅北口が少ない |
| | | × | 最終列車に配車をしてほしい |
| | その他 | × | 車両が少ないので、予約が必要 |
| | | × | 時間外の到着に時間がかかる |
| 利用時間 | ○ | 自由な時間・場所で使える | |
| | × | 深夜早朝に利用できない | |
| マナー・態度 | × | 運転手の対応が悪い | |
| その他 | ○ | 家から目的地まで直行で行ける | |
| | ○ | 荷物を乗せやすい | |
| | × | 玄関や病室まで付き添ってほしい | |
| | × | 乗合タクシーの導入 | |

【鉄道】

京成線とJR線を利用することができ、都内にも行きやすいところが良い点として上げられています。

| 鉄道 | | | |
|-----|-----|---|--------------------|
| 本数 | 京成線 | × | 京成佐倉と臼井・志津間の本数が少ない |
| | | × | 夜の京成佐倉への直通が少ない |
| | その他 | ○ | 本数が多い |
| 定時性 | | ○ | 時間が正確 |
| 行先 | | ○ | 都内・船橋方面に行きやすい |
| | | ○ | 首都圏に行きやすい |
| その他 | | ○ | 利用しやすい |
| | | ○ | JR線と京成線が利用できる |
| | | × | 京成駅前のロータリーが使いにくい |

【その他】

年代や移動目的の視点から移動手段を検討する必要があるといった意見や、交通事業者との連携が必要など、幅広い意見が得られました。

| その他 | | | |
|-------|---|----------------------------|-------------------------------|
| 交通全般 | × | 高齢者のサポートも必要 | |
| | × | 買い物以外でも、病院への移動手段も必要 | |
| | × | 市役所周辺、宮小路町付近を歩くのは危険 | |
| | × | 千成は出かけるのが不便 | |
| | × | 農村地域などでのデマンド交通の導入 | |
| | ○ | 具体的な対策に手を打ち始めている | |
| | × | 鉄道・バス・タクシー・その他事業者での話し合いの実施 | |
| | × | 本来の公共交通のあり方の問題意識の明確化が不足 | |
| まちづくり | | × | 団塊の世代を中心とした輸送とまちづくりについて検討するべき |
| | | × | 若者でも住みたくなるようなまちを目指す |
| | | × | 老人と弱い人が働けるように力を入れてほしい |

□ テーマ2「より多くの方が公共交通を利用するには」

特に、公共交通の利用促進という点で、料金や割引に関する意見が多く得られました。情報提供に関する点では、既存の公共交通をわかりやすく、より知ってもらえるような工夫が必要であることがわかりました。また、事業をより多くの方に公共交通を利用してもらうには、市だけでなく事業者との連携も重要であるという意見が得られました。

| 利用促進に関すること | | |
|------------|---------------------|---------------------|
| バス | 料金 | 民間事業者に沿った運賃の決定 |
| | | 民間事業者より割安にする |
| | | 運賃を安くする |
| | | ゾーン料金の導入 |
| | | ITを使った各公共交通の利用料金の調整 |
| | | ICカード導入 |
| | 割引券等 | 定期券の導入 |
| | | 回数券の導入 |
| | | 高齢者無料パスの導入 |
| | | 各公共交通の共通割引等の導入 |
| | | 手帳の代わりとなる専用パスの作成 |
| その他 | 定時運行にする | |
| | 自由乗降区間の拡充 | |
| | 自由乗降区間の設定、停留所の間をつめる | |
| タクシー | 料金 | 定額運賃制タクシーの導入 |
| | | 迎車料金の固定料金または無料化 |
| | 割引 | 免許返納者割引の導入 |
| | | タクシー券の導入 |
| | その他 | 配車サービスの導入 |
| | | 乗合タクシーの導入 |
| | | 深夜早朝のタクシーを利用しやすくする |

| 情報提供に関すること | | |
|-----------------|-------------------------|---------------------------|
| バス | 表示 | 経由地をわかりやすくする |
| | | 行先をわかりやすく表示する |
| | PR | マイカー利用者に対してバスのPRをする |
| | | 公共交通の活用をPRする |
| | | わかりやすくPRする |
| | | 地域住民に対してPRする |
| | | 地区別のバスマップを作成、配布 |
| バスロケーションシステムの導入 | | |
| タクシー | 配車終了の際に「タクシーはない」旨の表示をする | |
| 鉄道 | ミレニアムセンターのエレベーターの周知 | |
| 利用環境に関すること | | |
| バス | 停留所 | 停留所の増設 |
| | | 停留所位置の再検討 |
| | | 停留所に屋根の設置 |
| | | 停留所にベンチの設置 |
| | | バス停名で使用した企業に椅子や屋根を整備してもらう |
| 車両 | 小型車の導入 | |
| | 車いす対応の車両の導入 | |
| 鉄道 | エレベーター・エスカレーターの設置 | |
| | 駅前ロータリーを広くする | |
| | ベンチの設置 | |
| | 飲料用水道の設置 | |
| 移動の利便性に関すること | | |
| バス | 運行計画 | 時間帯を考慮した増便 |
| | | 利用者数調査をもとにバスを配備する |
| | | 本数やルートを再検討する |
| | | 運行時間帯を便利にする |
| | 公共施設 | 中央公民館へのバス路線を導入 |
| | | 市役所に行きやすくする |
| | | 公共施設等を結ぶ循環バスの運行 |
| | | 図書館、歴博へのアクセス強化 |
| | その他 | 京成佐倉駅とJR佐倉駅を結ぶ連絡バスの運行 |
| | 鉄道 | 京成佐倉～臼井・志津間の増便 |
| ユーカリが丘駅に特急を止める | | |

| 交通事業者との連携に関すること | |
|-------------------|---------------------------|
| バス | ダイヤ、バス停の位置、民間路線との連携 |
| | ルートの本化 |
| | 他のバスとのネットワーク化 |
| | 補助金の支出 |
| 鉄道 | 補助金の支出 |
| その他 | バス、タクシー、鉄道事業者との連携 |
| 公共交通以外の移動手段に関すること | |
| | 福祉施設のバスの活用 |
| | 企業の送迎バスの利用 |
| | ボランティア送迎の活用 |
| | 電動自転車（3,4輪）を用意 |
| | 運転支援装置の導入支援の実施 |
| | 移動販売の検討 |
| その他 | |
| バス | 全市を対象とする（コミュニティバス） |
| | 収益を考慮したダイヤやルート設定 |
| | 愛称をつける |
| | 鉄道の補助だけではなく、単独で地域の利便性を考える |
| | 利用者（町内会）の意見を聞く機会を設ける |
| その他 | 移動手段を考慮した公共交通政策の検討 |
| | 佐倉南部へのデマンド交通の導入 |
| | 観光地と駅を結ぶ |
| | 通学路の整備 |
| | 美術館前に支所を置く |
| | 住民の意見を反映する |

計画の策定経緯

| 年 | 月 日 | 地域公共交通会議 | その他 |
|------|------------|----------|-----------------|
| 2018 | 11月6日 | 第23回会議 | |
| 2019 | 3月8日～29日 | | 公共交通に関するアンケート調査 |
| | 4月16日～5月8日 | | 交通事業者ヒアリング |
| | 5月31日 | 第25回会議 | |
| | 8月25日、31日 | | 公共交通に関する意見交換会 |
| | 11月8日 | 第26回会議 | |
| 2020 | 1月16日 | 第27回会議 | |
| | 2月20日～3月5日 | | パブリックコメント |

